

環 境 経 済 部

環 境 政 策 課

生 活 環 境 課

農 林 課

商 工 振 興 課

観光まちづくり推進課

1 環境施策推進事業

あきる野市環境基本計画に基づく環境施策の推進や、市民及び市内事業所への環境対策の普及啓発事業を実施した。

(1) あきる野市環境審議会の運営

環境政策にかかる計画、報告書等について審議するが、諮問案件がなかったため、開催なし。

(2) あきる野市都市環境審議会の運営

都市環境に重大な影響を及ぼすと考えられる案件を審議するが、諮問案件がなかったため、開催なし。

(3) あきる野市環境委員会の運営

ア あきる野市環境基本計画に掲げる事業の進捗状況の点検評価や、市、市民及び事業者の協働による取組の企画・推進を行った。

開催日	内 容
平成30年 4月23日	会議 1 平成29年度実績及び平成30年度活動スケジュールについて 2 あきる野環境フェスティバルの出展について
5月12日	あきる野環境フェスティバル（環境コーナー）参加 1 グリーンカーテン用植物の苗・種の配布 2 地球温暖化についての展示 3 緑の募金の呼びかけ
6月26日	会議 環境基本計画施策進捗状況の点検について
9月 3日	会議 1 環境基本計画施策進捗状況の点検評価の確認について 2 環境基本計画等に対する環境委員会からの意見のとりまとめについて
9月26日	会議 1 環境白書の掲載内容について 2 「知る」活動の計画について
11月 7日	「知る」活動 西秋川衛生組合施設の見学
平成31年 3月 5日	会議 あきる野環境フェスティバルへの出展について

イ 業務委託

件 名	内 容	委 託 料 (円)
環境白書作成業務	環境白書の作成支援	918,000

(4) 港区環境交流事業の実施

あきる野市と港区の子どもたちが、互いの異なる自然環境について理解を深めるため、両自治体の交互開催で交流会を行っている。今年度は、あきる野市にて、川遊びや魚のつかみ取り体験を行った。

開催日	内 容	会 場
平成30年 8月 1日	「魚のつかみどりと川遊び」 参加者 1 あきる野市14人（小学3、4年生） 2 港区 16人（小学3、4年生）	小宮ふるさと自然体験学校及び周辺河川

(5) グリーンカーテン普及事業の実施

省エネ対策や夏の節電対策として効果のあるグリーンカーテンの普及啓発を行った。

ア グリーンカーテン用植物の苗・種の市民配布

あきる野環境フェスティバル会場内において、環境委員会と共同で、グリーンカーテン講習会の参加者及び環境啓発コーナーにおけるグリーンカーテンの展示の来場者に対し、植物の苗・種を配布した。また、図書館等の公共施設において植物の種の市民配布を行った。

配 布 日	内 容
平成30年 5月12日	あきる野環境フェスティバル（環境コーナー）
	1 ゴーヤ苗の配布 750ポット（1人3ポット、250人）
	2 アサガオ種の配布 442袋（1人1袋、約15粒入）
	あきる野環境フェスティバル（グリーンカーテン講習会）
	1 ゴーヤ苗の配布 72ポット（1人3ポット、24人）

イ グリーンカーテン講習会の実施

あきる野環境フェスティバル会場内において、環境委員会と共同で、グリーンカーテンの育て方の講習会を行った。

開 催 日	内 容
平成30年 5月12日	グリーンカーテンを上手につくるコツを経験談から学ぶ講習会 参加者 24人

ウ 公共施設でのグリーンカーテンの実施

子どもたちをはじめ市民への普及啓発のため、五日市出張所、二宮考古館、小中学校等にゴーヤの苗・種を配布し、グリーンカーテンの実施を促進した。

エ グリーンカーテン写真募集の実施

市民及び市内事業者への普及啓発の一環として、グリーンカーテンの写真募集を実施した。

市民から提供された写真は、市ホームページ、市役所1階コミュニティホールで展示した。

グリーンカーテン写真募集 応募件数 6件

（6）エコドライブの推進

安全運転とともに、二酸化炭素排出量の少ない運転となるエコドライブの普及事業を実施した。

ア 「わたしのエコドライブ宣言」の実施

「わたしのエコドライブ宣言」の参加者に、車両貼付用エコドライブ啓発マグネットシートを配布するとともに、既にエコドライブ宣言をした方のマグネットシート貼付写真を市ホームページに掲載し、「エコドライブの輪」の拡大に努めた。

（ア）参加者数 4人

イ 普及啓発の取組

エコドライブの普及のため、庁用自動車にエコドライブ啓発ステッカーの貼付を行うとともに、市職員が市民の模範となるよう、給油時の記録による庁用自動車の燃費把握を行った。

（7）小さな子どものおさんぽ会の実施

小さな子どもたちに、当市の恵まれた自然とじっくり向き合う機会を提供し、当市の自然環境の担い手となる人材を育成するため、環境委員会の下部組織である「森のようちえん部会」の主催により、未就学児とその保護者を対象とした「小さな子どものおさんぽ会」や、これまでの参加者を対象とした「小さな子どものおさんぽ会」（特別企画）を実施した。

ア 「小さな子どものおさんぽ会」の実施

開 催 日	場 所	参 加 者 数
平成30年 4月14日	鯉川	9組24人
5月13日	大澄山	10組28人
6月17日	高瀬耕地	10組26人
7月16日	平井川	10組32人

9月9日	秋川上流	9組29人
10月28日	弁天山	10組26人
11月23日	瀬戸岡歴史環境保全地域	10組30人
3月21日	横沢入里山保全地域	12組33人

イ 「小さな子どものためのおさんぽ会」（特別企画）の実施

開催日	場所	参加者数
平成30年8月19日	小峰公園	9組24人
平成31年2月16日	小宮ふるさと自然体験学校	8組23人

（８）あきる野環境フェスティバルの実施

環境保全の様々な取組の紹介や体験を通じて、来場者が環境に優しいライフスタイルを実践するとともに、自然との共生などを考える契機となるようなイベントとして、あきる野環境フェスティバル運営委員会との共催により、「あきる野環境フェスティバル2018」を実施した。

ア 開催日 平成30年5月12日

イ 会場 都立秋留台公園

ウ 入場数 2,500人（推定）

エ 内容

（ア）環境コーナー

出展数 18団体

（イ）フリーマーケット

出店数 77店

（ウ）リサイクル品（家具等）再利用コーナー

無料抽選会 出品数48点

（エ）配布・講習会コーナー

a 廃食油石けんの配布 782個配布

b ゴーヤ苗の配布 822ポット配布

（配布のみ750ポット、グリーンカーテン講習会72ポット）

c 生ごみ処理堆肥化講習会 26人参加

d グリーンカーテン講習会 24人参加

2 ふるさとの緑地に関する事業

豊かな緑を確保するとともに、良好な緑地環境を維持するため、あきる野市緑地保全審議会の運営、保存緑地の管理、緑化指導等を行った。

（１）あきる野市緑地保全審議会の運営

緑の保全と緑化の推進に寄与する保存緑地の指定に関し、審議した。

開催日	内容
平成31年1月17日	1 会長の選出について 2 保存緑地（樹木）の指定について

（２）保存緑地制度の運用

保存緑地制度の運用により、市内の良好な緑の確保に努めた。

ア 保存緑地の管理

市の管理する保存緑地について、業務委託等により、剪定、整理伐採等を行い、適正な状態を維持した。

件名	内容	委託料（円）
保存緑地管理業務	剪定、整理伐採及び補修工事 9件	1,393,200

イ 保存緑地に対する補助金の交付

保存緑地に指定された樹林地及び屋敷林の管理に対する補助金と、樹木の枯死等を防止するための経費に対する補助金を交付した。

件 名	内 容	補 助 金 額 (円)
保存緑地補助金 (樹林地)	3 か所 7, 6 7 7 . 4 m ²	1 5 5 , 9 1 4
保存緑地補助金 (屋敷林)	1 件	1 0 , 0 0 0
樹木管理費補助金	1 件	1 0 0 , 0 0 0

(3) 緑化の指導等

ア ふるさとの緑地保全条例に基づく指導

5 0 0 m²以上の面積の敷地における建築物、工作物等の設置や、宅地造成その他土地の区画形質の変更の行為に対し緑化の指導を行い、届出書を受理した。

(ア) 緑化計画書の届出 8 件

(イ) 宅地造成等に関する届出 1 1 件

イ 工場立地法の届出

工場立地法による特定工場の新設や増設などに伴い、工場立地法及び工場立地法地域準則条例に基づき、緑地の確保等の指導を行い、届出書の受理などを行う。

新設、変更又は廃止の届出がなかったため、受理件数なし。

(4) 横沢入里山保全事業

里山保全地域に指定されている横沢入地区の管理運営事業を実施した。

ア 横沢入里山保全地域運営協議会への出席

ボランティア、地域住民、農林業団体、東京都、市等で構成される協議会に参画し、管理運営に必要な協議を行った。

開 催 日	内 容
平成 3 0 年 6 月 7 日	1 平成 2 9 年度活動実績及び平成 3 0 年度活動計画 2 アライグマ被害対策について 3 ホタル対応について 4 東京都環境公社の業務について 5 樹林地管理について 6 天竺山東尾根南斜面の道が利用されなくなった問題について

イ 拠点施設等の管理

東京都からの委託により、横沢入地区の拠点施設等の管理を実施した。

ウ 業務委託

件 名	内 容	委 託 料 (円)
里山保全地域管理業務	1 利用者や自然環境の状況等の確認のための保守巡回 2 草刈・不法投棄物・一般ごみ回収などの保守管理	1 , 9 6 5 , 6 0 0
拠点施設管理・清掃等業務	1 拠点施設のトイレの開錠及び施錠等 2 施設内のトイレの清掃 3 施設内の清掃	8 5 5 , 3 0 6
浄化槽保守点検業務	1 浄化槽の維持管理 2 浄化槽の汚泥汲取り及び清掃	8 1 , 2 1 6
支障木伐採等業務	1 地区内の支障樹木、枝等の剪定及び伐採 2 土留柵、丸太柵、ロープ柵及び丸太橋等の作成 3 歩道の整備 4 看板の作成	5 9 0 , 9 7 6

3 生物多様性保全事業

市内の自然環境の保全と活用を図るに当たり、生物多様性あきる野戦略に基づき、生態系の保全のため、あきる野市生きものの会議を運営するとともに、外来生物対策等を実施した。

(1) あきる野市生きものの会議の運営

生物多様性あきる野戦略の推進のため、市内に生息し、又は生育する希少生物の保全方策等の検討を行った。

開催日	内容
平成30年 4月 6日	会議 1 あきる野市版レッドリスト（哺乳類）原案について 2 あきる野市版レッドリストの公表について 3 次に作成するレッドリストについて
平成31年 2月 12日	会議 1 あきる野市版レッドリスト（両生類・爬虫類）原案について 2 次に作成するレッドリストについて 3 弁天山横の棚田における生息地等保全協定の締結について
3月 25日	会議 1 生物多様性あきる野戦略について 2 あきる野市生きものの会議について 3 委員長及び副委員長の選出について 4 会議の運営方法について

(2) あきる野市版レッドリストの作成

あきる野市版レッドリストの作成のため、生きものの会議の下部組織として「両生・爬虫類部会」を設置し、「あきる野市版レッドリスト（両生類）」及び「あきる野市版レッドリスト（爬虫類）」の検討を行った。

開催日	内容
平成30年 9月 10日	会議 1 あきる野市版レッドリスト（両生類）原案の作成について 2 あきる野市版レッドリスト（爬虫類）原案の作成について

(3) あきる野市自然環境調査の実施

生きものの会議の下部組織として自然環境調査部会を組織し、各班において自然環境調査を行うとともに、保全に関する検討を行った。

ア あきる野市自然環境調査部会の運営

開催日	内容
平成30年 4月 27日	会議 1 平成29年度活動報告及び決算について 2 平成30年度活動計画及び予算について
10月 3日	会議 1 弁天山鳥居横の田んぼにおける生息地等保全協定について 2 予算の執行状況について
3月 11日	会議 1 平成30年度の活動報告及び決算の作成について 2 平成31年度の活動計画及び予算の作成について

イ 業務委託

件名	委託料（円）
自然環境調査業務	574,000

(4) 外来生物対策の実施

生態系に被害を与えている外来種（アライグマ、ハクビシン、オオキンケイギク、オオブタクサ、アレチウリ、クビアカツヤカミキリ）について、対策を実施した。

ア アライグマ及びハクビシン対策

あきる野市自然環境調査部会、森林レンジャーあきる野の調査結果及び市民による目撃情報を基に生息場所を特定し、市民及び地権者等の協力の下、市内全域で捕獲を行った。

実 施 日	内 容
平成30年4月1日 ～平成31年3月31日	1 実施箇所等 わな設置箇所 23地区 74か所 2 捕獲実績 (1) アライグマ 22頭 (2) ハクビシン 6頭

イ オオキンケイギク、オオブタクサ及びアレチウリの対策

(ア) あきる野市自然環境調査部会、森林レンジャーあきる野の調査結果及び市民による目撃情報を基に生育場所を特定し、地権者等に除草を呼びかけた。

種 別	実 施 日	分布情報件数
オオキンケイギク	平成30年5月1日 ～平成31年3月31日	62
オオブタクサ	平成30年7月1日 ～平成31年3月31日	130
アレチウリ	平成30年8月1日 ～平成31年3月31日	76

(イ) 市民参加の除草イベント「外来植物除去作戦」を実施した。

種 別	実 施 日	参 加 者 数 (人)
オオキンケイギク	平成30年6月 2日	15
オオブタクサ	平成30年8月25日	19
アレチウリ	平成30年9月 8日	17

ウ クビアカツヤカミキリの対策

(ア) 市職員による公共施設の調査結果及び市民による目撃情報等を基に寄生場所を特定し、成虫の捕殺及び幼虫の駆除を行った。

(イ) 業務委託

件 名	内 容	委 託 料 (円)
防除方法に関する研究業務	1 寄生木への薬剤注入による幼虫の駆除率の把握 2 寄生木へのネット掛けによる成虫の捕獲率の把握	827,160
成虫捕獲業務	1 サクラの木の見回り 2 クビアカツヤカミキリの捕獲	129,600
成虫飛翔防止用ネット敷設業務	1 サクラの木のネット掛け 2 サクラの木のネット外し	99,360
被害木の伐採に係る抜根業務	1 被害木の伐採に係る抜根 2 抜いた根の破砕及び廃棄	161,859
寄生状況調査及び成虫捕殺業務	1 サクラ及び近縁種の木の見回り 2 クビアカツヤカミキリの捕殺 3 寄生木の把握	3(3)イの業務委託に包含する。

4 地球温暖化対策事業

あきる野市地球温暖化対策地域推進計画及びあきる野市第四次地球温暖化防止対策実行計画に基づく取組を推進した。

(1) 温室効果ガス排出量等の集計

ア 第四次地球温暖化防止対策実行計画に基づき、市施設の光熱水及び冷媒封入設備の状況、用紙購入量等の管理を行い、温室効果ガスの排出抑制を推進した。

イ 業務委託

件 名	内 容	委 託 料 (円)
地球温暖化防止対策進行 管理集計業務	温室効果ガスの総排出量その他環境負荷及び 計画の目標達成の状況などの点検 1 本年度実績の調査 2 前年度実績値の全体集計 3 前年度課・施設別点検報告	9 6 7 , 6 8 0

(2) うちエコ診断の実施

家庭における省エネの取組を支援するため、参加者の家庭の年間エネルギー使用量や光熱費などの情報をもとに、専門の診断士が具体的な省エネ方法を提案する、うちエコ診断を実施した。

ア うちエコ診断の実施

開 催 日	内 容	参 加 者 数 (組)
平成30年12月19日	1 うちエコ診断の実施 2 事後調査票のまとめ	7

イ 業務委託

件 名	委 託 料 (円)
うちエコ診断業務委託	6 0 , 4 8 0

(3) 省エネ推進の取組

省エネモニターに登録している市民の家庭のデータを基にした二酸化炭素排出量のほか、省エネ型生活10か条、環境家計簿の取組などを市ホームページ等で紹介し、市民の省エネに向けた意識啓発を図った。

ア 省エネモニターの推進

省エネモニターに登録し、データを提供していただいた市民の家庭（58世帯）について、月々の二酸化炭素排出量を計算したグラフ等を作成し、各家庭に送付するとともに、登録世帯の二酸化炭素排出量、各エネルギー使用量の平均値などを算出し、省エネモニターの方が実施している「私のひと工夫」と併せて、市ホームページにより市民に周知した。

イ 省エネ型生活10か条、環境家計簿の取組の推進

省エネの代表的な取組を示す「省エネ型生活10か条」やエネルギー消費量を入力することで、各家庭の二酸化炭素排出量を知ることができる「環境家計簿」の取組を市ホームページ等により周知した。

1 郷土の恵みの森づくり

郷土の恵みの森構想及び生物多様性地域連携保全活動計画に基づく地域との協働の森づくりとして、町内会・自治会等が主体となり取り組んでいる昔道や尾根道の補修、景観の整備等を行う郷土の恵みの森づくり事業に対して交付金を交付した。平成30年度は、16の町内会・自治会等により24か所で事業が実施された。

(1) 昔道・尾根道補修等事業

町内会・自治会等	内 容	期間 (年目)	距離 (k m)	階段 (m)	標識 (か所)	金 額 (円)
深沢自治会	大カシ・堀田尾根道整備事業	9	3.8	0	0	117,040
	大杉への探索路整備事業	6	0.6	0	0	50,000
自然を昔に戻す会	日向峰道補修等事業	9	1.5	0	0	50,000
養沢自治会	サルギ尾根登山道補修事業	9	3.0	0	0	92,400
	大野道補修事業	6	1.4	0	0	50,000
三内自治会	天竺山周辺散策道整備事業	9	1.2	100	3	82,760
樽自治会	金比羅山接続登山道整備事業	8	0.6	0	0	50,000
高尾自治会	高尾神社周辺尾根道整備事業	7	1.2	0	0	50,000
菅生町内会	菅生南尾根周遊道整備事業	8	4.0	0	0	77,600
	菅生北尾根周遊道整備事業	9	3.8	0	0	73,720
合 計		—	21.1	100	3	693,520

(2) 景観整備事業

町内会・自治会等	内 容	期間 (年目)	金 額(円)
深沢自治会	深沢川周辺景観整備事業	9	150,000
	南沢地区景観整備事業	9	150,000
軍道自治会	軍道地区石原沢景観整備事業	9	150,000
	軍道地区まがめひろば景観整備事業	6	50,000
乙津自治会	乙津地内景観整備事業	8	150,000
落合自治会	加茂原周辺景観整備事業	8	150,000
青木平自治会	西青木平橋周辺景観整備事業	8	150,000
寺岡自治会	二反坂周辺景観整備事業	8	150,000
山下自治会	堂沢周辺景観整備事業	8	150,000
小机自治会	まいまい坂周辺景観整備事業	8	150,000
網代自治会	弁天山公園周辺景観整備事業	5	300,000
自然を昔に戻す会	長岳尾根周辺景観整備事業	4	300,000
	日向峰地内景観整備事業	4	100,000
北郷いさぐり会	北郷いさぐり地区景観整備事業	3	300,000
合 計		—	2,400,000

(3) イベントの実施・参加等

ア 第42回全国育樹祭

平成30年11月18日に東京都で開催された第42回全国育樹祭式典行事において、皇太子同妃両殿下のご臨席の下、森の子コレンジャー（4名）が緑の少年団として登壇し、「皇族殿下御誘導」及び「緑の贈呈」の役割を担った。また、前日の17日には、併催行事として開催された「全国緑の少年団活動発表大会」及び「緑の少年団交流集会」に参加した。

(ア) 大会テーマ 「育樹から 木のある暮らし つないでく」

(イ) 場 所 武蔵野の森総合スポーツプラザ (調布市)

(ウ) 参加者 約 5, 0 0 0 人

イ G T F (グレートアウトウキョウフェスティバル) グリーンチャレンジデー

平成 3 0 年 9 月 2 9 日に新宿御苑で開催された「G T F グリーンチャレンジデー 2 0 1 8」に出展し、郷土の恵みの森づくり事業やあきる野市の多様な自然環境を P R した。

ウ 環境学習

都立五日市高等学校総合学習「地球環境」講演

(ア) 実施日 平成 3 0 年 4 月 1 8 日

(イ) 場 所 都立五日市高等学校 視聴覚室

(ウ) 内 容 都立五日市高等学校 2 年生の総合学習「地球環境」の一環で、健全な森づくり、森の役割などについて、森林レンジャーあきる野が講演を行った。

(エ) 参加者 都立五日市高校 2 年生 1 3 0 人

(4) その他の事業

平成 3 0 年 5 月 1 2 日に開催したあきる野環境フェスティバル 2 0 1 8 において、森林レンジャーあきる野が調査を進めている市内の動植物の写真展示や多様な自然環境の P R を行った。

また、市内全小学校の校外学習や「新宿の森・あきる野」自然体験ツアーに森林レンジャーあきる野が同行し、自然環境や生物の多様性について解説した。

2 森林レンジャーあきる野

(1) 森林レンジャーあきる野

郷土の恵みの森構想に基づく森づくりをより具体的に進めるため、平成 2 2 年 5 月に専門知識を持つ 4 人で組織する「森林レンジャーあきる野」を設置した。平成 2 9 年度からは、森林レンジャーあきる野の 1 人がこれまでの経験と知識、技術を活かす場として、小宮ふるさと自然体験学校の校長に就任したため、現在は 3 人で活動を行っている。

森林レンジャーあきる野は、町内会・自治会等が行う昔道や尾根道の補修、景観の整備等を地域と協働で実施している。また、登山道や山林地帯を巡視し、整備・補修するとともに、市内に生息する動植物の調査、滝や沢、巨木などの地域資源の掘り起こしなども行っている。さらに、地域の森づくりに関連した自然環境体験イベントの開催など、森とその周辺にある地域資源の持つ魅力を市内外に向けて発信している。

(2) 活動状況

実 施 日	内 容	参加者数
平成 3 0 年 4 月 1 日	子どもが主役のオオムラサキの森活動	1 6
4 月 7 日	木こり講座	1 2
4 月 1 8 日	都立五日市高等学校総合学習「地球環境」講演	1 3 0
4 月 2 1 日	木こり講座	7
4 月 2 6 日	五日市小学校 4 年生校外学習	7 2
5 月 6 日	子どもが主役のオオムラサキの森活動	1 9
5 月 1 2 日	あきる野環境フェスティバル 2 0 1 8	—
5 月 2 6 日	木こり講座	9
6 月 8 日	屋城小学校 3 年生校外学習	3 5
6 月 1 2 日	前田小学校 3 年生校外学習	5 0
6 月 2 4 日	東京都山岳連盟自然保護指導員新規認定講習会	1 6
6 月 3 0 日	二反坂周辺景観整備事業 (寺岡地区)	1 8

7月 2日	日向峰地内景観整備事業（戸倉地区）	10
7月 8日	子どもが主役のオオムラサキの森活動	8
7月 8日	木こり講座	15
7月10日	シュタイナー学園5年生校外学習	26
7月13日	一の谷小学校3年生校外学習	31
8月 5日	子どもが主役のオオムラサキの森活動	13
8月 5日	木こり講座	6
8月13日	あきる野市新任教職員研修	20
8月14日	あきりゅうジオの会講演	45
8月18日	深沢川周辺景観整備事業（深沢地区）	14
8月18日	生涯学習推進課事業「親子ふれあい自然体験塾」	6
8月26日	加茂原周辺景観整備事業（落合地区）	16
8月29日	観光ボランティアガイドツアー実踏	4
9月13日	西秋留小学校3年生校外学習	87
9月20日	草花小学校3年生校外学習	116
9月24日	木こり講座	12
9月29日	GTFグリーンチャレンジデー2018（新宿御苑）	—
10月 2日	多西小学校3年生校外学習	77
10月 7日	子どもが主役のオオムラサキの森活動	9
10月15日	日向峰地内景観整備事業（戸倉地区）	21
10月16日	南秋留小学校3年生校外学習	70
10月19日	長岳尾根周辺景観整備事業（乙津地区）	15
10月25日	増戸小学校4年生校外学習	95
10月26日	東京都都市環境・公害（西部ブロック会議）研修	21
10月28日	木こり講座	11
11月 1日	東秋留小学校4年生校外学習	95
11月 3日	新宿の森・あきる野イベント（戸倉盆堀地区）	42
11月 4日	子どもが主役のオオムラサキの森活動	5
11月10日	木こり講座	3
11月17日	第42回全国育樹祭関連行事	—
11月18日	第42回全国育樹祭式典行事	—
11月24日	木こり講座	18
12月 2日	子どもが主役のオオムラサキの森活動	18
12月 3日	深沢川周辺景観整備事業（深沢地区）	12
12月 9日	菅生大沢地区の里山保全作業講習	9
12月15日	木こり講座	11
平成31年 1月26日	木こり講座	10
2月 2日	木こり講座	8
2月 3日	子どもが主役のオオムラサキの森活動	18
3月 9日	木こり講座	6
3月10日	子どもが主役のオオムラサキの森活動	9
3月10日	加茂原周辺景観整備事業（落合地区）	20

3 森林サポートレンジャーあきる野

郷土の恵みの森構想の実現に向け、町内会・自治会等との協働により郷土の恵みの森づくりを進めるため、市職員及び市民等による「森林サポートレンジャーあきる野」を設置しており、町内会・自治会等が行う尾根道の補修、景観の向上等の森づくり事業の支援活動を行った。

(1) 隊員の構成

ア 人数 106人（平成31年3月31日現在）

イ 内訳

（ア）市職員 49人

（イ）市民 29人（うち企業2社4人）

（ウ）市民以外 28人

(2) 活動状況

実施日	内 容	参加者数
平成30年 4月21日	深沢川周辺景観整備事業（深沢地区）	5
6月30日	二反坂周辺景観整備事業（寺岡地区）	10
8月18日	深沢川周辺景観整備事業（深沢地区）	9
8月26日	加茂原周辺景観整備事業（落合地区）	6
10月 7日	二反坂周辺景観整備事業（寺岡地区）	6
平成31年 3月10日	加茂原周辺景観整備事業（落合地区）	11
合 計		47

4 森の子コレンジャー

森づくりの推進役である森林レンジャーあきる野と一緒に、あきる野の自然と文化を守り引き継いでいく郷土愛を持った人材を育てることを目的に、第8期森の子コレンジャー（公募で募集した小学4年生から6年生までの14人）が1年間活動した。さらに、緑の少年団として、東京都で開催された第42回全国育樹祭に関連する各種行事に参加した。

また、森の子コレンジャーOBによる同窓会として、自分たちが活動した森などの整備を行った。

(1) 第8期活動状況

実施日	内 容
平成30年 5月15日	森の子コレンジャー保護者説明会（五日市出張所） ・年間の活動計画と活動方針について
5月20日	始動式、森の散策（小宮ふるさと自然体験学校周辺）
6月17日	調査（森、痕跡、鳥、植物・昆虫）（小宮ふるさと自然体験学校周辺）
7月 8日	調査（森、痕跡、鳥、植物・昆虫）（小宮ふるさと自然体験学校周辺）、全国育樹祭関連準備
8月 5日	どんぐり豊凶調査（落合地区及び小宮ふるさと自然体験学校周辺）
9月23日	鳥の渡り調査（大沢地区及び小宮ふるさと自然体験学校周辺）
10月14日	調査登山（グミの木山）
11月17日、18日	第42回全国育樹祭関連行事及び式典行事（武蔵野の森総合スポーツプラザ等）
12月 9日	ビオトープの整備（小宮地区及び小宮ふるさと自然体験学校周辺）
平成31年 1月 6日	工作、植樹等（小宮地区及び小宮ふるさと自然体験学校周辺）
3月24日	夜の森の調査、終了式（金比羅山及び五日市出張所）

(2) 同窓会活動

実施日	内 容
平成30年11月23日	第3、4、5、6、7期同窓会（ビオトープ整備）

5 小宮ふるさと自然体験学校の運営

平成24年3月31日をもって閉校となった小宮小学校を、子どもたちを中心に自然とのふれあ

いや環境学習の場として提供することにより、心豊かな人間性を育むとともに、地域の活性化を図るための拠点施設とするため、小宮ふるさと自然体験学校を平成24年9月1日に開校した。

本施設を拠点として、主に幼児や小学生を対象とした各種の自然体験事業等を実施している。また、あきる野市小宮ふるさと自然体験学校の設置及び管理に関する条例を平成27年7月1日に施行しており、貸出施設として各団体に使用されている。

(1) 自然体験事業等

内 容	利 用 人 数
あきる野市の自然体験事業（森っこサンちゃんクラブ等）	1 8 1
市内小中学校の自然体験事業	7 0 3
その他、学校等の体験事業	1 3 9
団体の自然体験事業（市内の団体）	7 2 5
団体の自然体験事業（市外の団体）	7 3 0
森の子コレンジャー	1 0 2
見学（校内見学）等	1 2 9
合 計	2, 7 0 9

(2) その他イベント等

内 容	利 用 人 数
ふれあい交流事業	8 1 8
施設の貸出	1, 4 3 8
その他（自然体験事業下見等）	2 0 7
合 計	2, 4 6 3

6 産学公の取組

(1) 産学公連携による森づくり

郷土の恵みの森構想等に基づき、菅生地区で取り組む森林の保全・活用及び地域の活性化についての調査・研究並びにこれらの活動及びその担い手の育成などについて、平成23年7月13日、「NECフィールドディング株式会社、明星大学及びあきる野市との連携による自然環境保全活動等に関する協定書」を締結し、産学公が連携して取り組んでいる。

菅生大沢地区の市が所有する山林では、豊かな里山へ再生することを最終目的として、ワークショップ方式で多様な意見を取り入れながら、整備が進められている。

(2) あきる野菅生の森づくり協議会

協定書に基づく森づくりの取組を具体的に進めていくため、平成23年8月8日、菅生町内会、明星大学、NECフィールドディング株式会社、あきる野青年会議所、特定非営利活動法人ふるさと森づくりセンター及びあきる野市により「あきる野菅生の森づくり協議会」が設置された。平成24年度からは、この協議会に西多摩マウンテンバイク友の会が加わり、菅生地区で取り組む里地活性化事業や里山活性化事業の検討等を行うとともに、各種事業を実施した。

開 催 日	内 容
平成30年 5月 8日	第20回協議会 1 平成29年度事業報告について 2 平成29年度決算報告について 3 平成30年度事業計画（案）について 4 平成30年度補助金申請状況について 5 平成30年度予算（案）について 6 その他について
12月10日	第21回協議会 1 平成30年度事業の実施状況（4月～12月）について

	2 今後の事業予定（１月～３月）について 3 その他
平成３１年 ３月２６日	第２２回協議会 あきる野菅生の森づくり協議会の今後の方向性について

（３）里地活性化事業

農産物の特産化について

高齢化や後継者不足等により耕作や手入れがされなくなった農地等を活用し、菅生地区の気候風土に適した農作物について、流通を意識して生産することにより、地域住民の連帯や経済的な助けとなるよう農産物の特産化に取り組んだ。

平成３０年度は、菅生野菜として、トマト（フルティカ・アイコ・イタリアントマト等）、シイタケを中心に５１種類を栽培しており、多品種の販売を行った。販売は、畑と協議会ハウスの直売所、市役所１階の福祉喫茶「トライアングル」のほか、市内のクリーニング屋で行った。

また、菅生野菜のＰＲとしてのぼり旗を幹線道路沿いに設置したことにより、新たに訪れる人が増えたことから、特産品の売り上げが増加した。

農作業については、ＮＥＣフィールドイング竹取物語ＯＢ会の５人が週３日（月・火・木）のほか、必要に応じて随時実施した。

（４）里山活性化事業

ア ワークショップ（保全活動と育成）について

あきる野市が所有する菅生大沢地区の山林を豊かな里山へ再生するため、ワークショップ形式で利活用の検討を進めるとともに、下草刈りや低木類の伐採作業などを行った。

開 催 日	内 容
平成３０年 ４月１４日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり
５月１３日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり
５月２７日	明星大学の「環境基礎ゼミ」野外学習を実施した。 竹取物語と西多摩マウンテンバイク友の会の指導により、緑の質を高め生態系に配慮した樹林の再生と斜面地の植生の適正管理を目的に、斜面地の草刈りとコナラ林に繁茂する低木類の伐採などの作業を行った。
６月 ２日	大沢地区の整備状況と今後の整備について、菅生町内会の方や大沢で作業に関わっている人が参加し、意見交換を行った。
６月 ９日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり
７月１４日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり
９月 １日	大沢地区の整備状況と里地・里山の活性化について、菅生町内会の方や大沢で作業に関わっている人が参加し、意見交換を行った。
１０月１３日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり
１２月 １日	大沢地区の現状と整備状況を確認後、倒れた桜の修復作業を行った。
１２月 ９日	手道具の安全講習会を実施した。（９人）
平成３１年 １月１３日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり
２月 ９日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり
３月１０日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり

イ 自然環境教育について

体験事業や講座を通じて、森づくりや自然環境保全等の担い手を育成するため、環境教育イベントを実施した。

（ア）菅生子どもの森広場

次世代を担う心豊かな子どもたちを育てるための体験の場として、里山とふれあいながら

森や川での生き物探しや森での遊び、オオムラサキの舞う里山に向けた再生活動などの自然体験活動を行った（公募による小学１年生から６年生までの２０人）。

開 催 日	内 容
平成３０年 ５月１３日	食べられる野草摘みと天ぷらづくり
７月２２日	川の生き物探し
９月 ９日	森や野原で昆虫探し
１１月２５日	火おこしから始める森のバームクーヘンづくりとエノキの植樹
平成３１年 １月２０日	竹細工による作品づくり
３月１７日	秘密基地の発表会と今年度の総括

（イ）子どもが主役のオオムラサキの森活動

子どもたちが豊かな自然とふれあい、自由に遊べる森の広場を目指し、スギ・ヒノキの針葉樹林を広葉樹林へ樹種変換を図り、オオムラサキの生息する森づくり活動を行った。

開 催 日	内 容
平成３０年 ４月 １日	散策路の整備とオオムラサキ保護用の樹木ネットの設置作業
５月 ６日	地元町内会の方を招き、整備をした散策路や雑木林の見学会を行った。
７月 ８日	通路の草刈作業と竹の伐採整備等を行った。
８月 ５日	竹の伐採及雑木林の広場の整備を行った。
１０月 ７日	巨大ハンモックの修理と竹の伐採作業を実施
１２月 ２日	木こり講座で伐採したスギ・ヒノキの玉切り作業とオオムラサキの幼虫探しを行った。
平成３１年 ２月 ３日	コナラの植栽作業と竹の伐採作業等を行った。
３月１０日	オオムラサキの保全ネット設置作業を行った。

（ウ）木こり講座

森林の保全・活用を図るため、樹木の伐採や切り出した材を活用できるよう、チェーンソーの使い方や樹木の伐採の方法を学び、森林整備の担い手の育成を行った。

開 催 日	内 容
平成３０年 ４月 ７日	大沢地区で活動を行い、ヒノキの伐採及びログベンチ作りを行った。
４月２１日	前回の続きとして、大沢地区で活動を行い、ヒノキの伐採及びログベンチとバイクスタンド作りを行った。
５月２６日	前回の続きとして、大沢地区で活動を行い、ヒノキの伐採及びログベンチとバイクスタンド作りを行った。
７月 ８日	今回からは、オオムラサキの森で活動を行い、ヒノキの伐採と雑草木除去を行った。
８月 ５日	前回の続きとして、オオムラサキの森で活動を行い、ヒノキの伐採と玉切り作業を行った。
９月２４日	今回からは、若宮地区で活動を行い、昨年度からの継続としたコナラ林の伐採と新たに始めるエリアの灌木整備を行った。
１０月２８日	前回の続きとして、若宮地区で活動を行い、昨年度からの継続としたコナラ林の伐採と玉切り作業を行った。
１１月１０日	前回の続きとして、若宮地区で活動を行い、コナラ林の伐採と玉切り作業を行った。
１１月２４日	チェーンソーの安全講習会を実施し、基本的な操作方法や実技指導を行った。
１２月１５日	若宮地区で活動を行い、コナラ林の伐採と伐採跡地の整備を行った。また、葉干ししたコナラを玉切りにし、約１２５本のホダ木をつくり平坦地へ運搬し集積をした。
平成３１年 １月２６日	前回の続きとして、若宮地区で活動を行い、コナラ林の伐採と玉切り作業を行った。また、葉干ししたコナラを玉切りにし、約７５本のホダ木をつくり平坦地へ運搬し集積をした。

2月 2日	前回の続きとして、若宮地区で活動を行い、コナラ林の伐採と玉切り作業を行った。また、葉干ししたコナラを玉切りにし、約140本のホダ木をつくり平坦地へ運搬し集積をした。
3月 9日	林内に設置する木道の部材づくりとして作業を行った。また、部材として、林内のヒノキを伐倒、玉切り後、木道に活用できるよう板引作業を行った。

(エ) 親子で体験「シイタケのホダ木づくりと駒打ち体験」

木こり講座で伐採したコナラを有効に活用するため、「椎茸のホダ木づくりと駒打ち体験」を実施した。

開催日	内 容
平成31年 2月17日	「菅生若宮子ども体験の森」において、木こり講座のメンバーが伐採したコナラを使い、シイタケのホダ木づくりを親子で体験した。普段、何気なく食べているシイタケがどのように作られているのか実感できるイベントとなった。

(オ) 親子で体験「マウンテンバイク体験教室」

地域の方々と親睦を図るとともに里山におけるマウンテンバイク利用の理解を深めていただくために、「西多摩マウンテンバイク友の会」の協力により、菅生町内会を始め地域の親子を対象にマウンテンバイク体験教室を開催した。

開催日	内 容
平成30年 6月17日	基本的な乗り方等の説明を受けた後、低学年と高学年の2チームに分かれてマウンテンバイクの基本操作やスラローム走行、段差の乗り越え方等を講習した後、マウンテンバイクコースでの走行を行った。
11月25日	今回は、初めて参加する方を中心としたマウンテンバイク教室を実施した。基本的な乗り方等の説明を受けた後、低学年と高学年の2チームに分かれてマウンテンバイクの基本操作やスラローム走行、段差の乗り越え方等を講習した後、マウンテンバイクコースでの走行を行った。

7 ホタルの里づくり

(1) ホタルの里づくり推進事業

ホタルが生息している地域の町内会・自治会が中心に行っている河川の清掃などの保全活動やホタルの鑑賞会などの取組を支援した。

町内会・自治会名	団 体 名	金 額 (円)
深沢自治会	深沢ほたるの会	54,000
雨間町内会	南郷用水ホタルの会	54,000
落合自治会	落合自治会ほたるの会	54,000
下引田町内会	一の谷地区ほたるの会	54,000
合 計		216,000

(2) ホタル保全活動事業

圏央道のトンネル上部に設置された菅生公園内の管理及び水路の美化等によるホタルの保全活動を「菅生ホタルの里づくりの会」に業務委託した。

ア 委託事業者 菅生ホタルの里づくりの会

イ 履行期間 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

ウ 委託料 60,000円



森っこサンちゃん

8 森っこサンちゃん

市のイメージキャラクターである「森っこサンちゃん」は、市が発行する各種刊行物や各種イベント等において里山環境の保全や観光のPR活動などに広く活用されている。そのデザインについて

ては、事業者が各種商品に活用できるよう、『「森っこサンちゃん」の使用に関する要領』を定めており、各種商品等に活用されている。また、「森っこサンちゃん」着ぐるみ使用基準を定めており、市のイベント等で活用している。

平成２８年７月２５日には、ＰＲ活動を更に推進するため、キャラクター活動に関心のある市職員がボランティアで組織する「森っこサンちゃんサポーターズクラブ」を設置し、「森っこサンちゃん」の幅広い活用の検討や着ぐるみ対応の支援などを行っている。

(１) 各種商品(平成３１年３月３１日現在)

	商 品 名	取 扱 店 舗 等
食 品	缶ドロップ、クッキー、塩セット、チョコクランチ、プリントマシュマロ、ポテあられ	新四季創造(株)
	サブレ	レ・ポルト・ドゥ・フィナンシェ
	焼菓子（どら焼き、まんじゅう）	恵比寿屋、(有)菊屋、(有)中島屋
そ の 他	キューピー、クリップ、ぬいぐるみ、ボールペン、ミニタオルセット、ミニメモ帳	新四季創造(株)
	シール	(株)クレインエイト
	ストラップ	新四季創造(株)、東京都森林組合
	スマホ立て	東京都森林組合
	Tシャツ	シンコースポーツ(株)、(株)久松機工
	ビーズストラップ	里村 恵
	ポロシャツ、防滴ポーチ、メッシュキャップ、Yシャツ	シンコースポーツ(株)

(２) 着ぐるみの活用

事 業	回 数					合 計
	平成 ３０年度	平成 ２９年度	平成 ２８年度	平成 ２７年度	平成 ２６年度	
市が主催又は共催する事業	２１	１５	１５	２１	２５	９７
小学校、中学校が実施する事業	０	２	０	０	１	３
幼稚園、保育園が実施する事業	２	４	２	３	５	１６
観光推進関連事業	７	８	７	１２	１１	４５
商工推進関連事業	１	１	１	１	０	４
その他の事業	７	６	６	１２	４	３５
合 計	３８	３６	３１	４９	４６	２００

1 環境確保条例に関する委任事務

環境確保条例（都民の健康と安全を確保する環境に関する条例）の一部事務が都から委任されているため、同条例に基づく工場の認可、指定作業場の届出及び地下水揚水施設の揚水量報告に係る指導等を行った。

(1) 工場設置及び変更認可件数の推移

種 類	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
設置認可	3	0	2	1	2
変更認可	5	0	7	4	3

(2) 指定作業場設置及び変更届出件数の推移

種 類	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
設置届	2	3	2	3	2
変更届	1	0	2	0	1

(3) 地下水揚水量報告書提出件数

工 場	6	指定作業場	5	その他	8	合計	1 9
-----	---	-------	---	-----	---	----	-----

2 騒音規制法及び振動規制法に基づく届出

騒音規制法及び振動規制法により、特定施設の届出に係る指導等を行った。

(1) 騒音規制法に基づく特定工場数と特定施設数 (単位：箇所)

種 別	秋川地区	五日市地区	合計
特 定 工 場	6 5	5 3	1 1 8
特 定 施 設	3 2 4	1 9 0	5 1 4

(2) 振動規制法に基づく特定工場数と特定施設数 (単位：箇所)

種 別	秋川地区	五日市地区	合計
特 定 工 場	6 0	2 7	8 7
特 定 施 設	2 3 3	1 5 1	3 8 4

(3) 騒音規制法に基づく特定建設作業の届出数 1 3 件

(4) 振動規制法に基づく特定建設作業の届出数 1 1 件

3 公害に関する苦情

(1) 苦情受付現象別件数

現 象	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
悪 臭	7	1 0	5
汚 水	1	3	3
騒 音	1 8	1 5	1 6
ば い 煙	1	0	1
粉 じ ん	3	3	5
焼却行為	4 5	4 1	3 3
そ の 他	1 0 0	1 0 6	6 7
合 計	1 7 5	1 7 8	1 3 0

(2) 発生源別・用途地域別苦情受付件数

用途地域 公害種目		受 付									
		低層住宅	中高層住宅	住宅地域	近隣商業	商業	準工業	工業	工業専用	無指定	計
発生源別	工場	1	0	0	0	0	3	0	0	2	6
	指定作業場	1	0	1	0	0	0	0	0	1	3
	建設作業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般	6 5	9	2	0	0	2	0	0	4 3	1 2 1
	合計	6 7	9	3	0	0	5	0	0	4 6	1 3 0

(3) 空き地の管理の適正化に関する条例に基づく事務

苦情受付件数	勧告件数	指導件数	草刈機貸出し件数
2 2	0	2 1	4 5

4 環境調査

(1) 秋川・平井川河川水質調査＜年間4回（※1）実施の平均値＞

項目・単位 地点・年度		PH 水素イオン 濃度	BOD 生物化学的 酸素要求量	SS 浮遊物質	DO 溶存酸素量	大腸菌群数
		—	mg/l	mg/l	mg/l	MPN/100ml
西青木平橋 (秋川)	29年度	7.7	<0.5	<1.0	10.7	805
	30年度	7.4	<0.5	<1.0	11.0	748
落合橋 (秋川)	29年度	7.6	<0.5	<1.0	10.5	—
	30年度	7.3	<0.5	<1.0	10.9	—
沢戸橋 (秋川)	29年度	7.8	<0.5	<1.0	10.6	—
	30年度	7.4	<0.5	<1.0	11.0	—
秋川橋 (秋川)	29年度	8.0	0.6	<1.0	10.5	1,175
	30年度	7.4	<0.5	<1.0	11.0	1,325
天王沢 (秋川合流点)	29年度	7.5	<0.5	<1.0	10.8	—
	30年度	7.4	<0.5	<1.0	10.3	—
三内川 (秋川合流点)	29年度	8.0	<0.5	<1.0	10.2	—
	30年度	7.4	<0.5	<1.0	10.5	—
清水荘前 (秋川)	29年度	8.1	<0.5	<1.0	10.7	—
	30年度	7.7	<0.5	<1.0	10.8	—
引田堰 (秋川)	29年度	8.0	<0.5	<1.0	9.8	1,750
	30年度	7.5	<0.5	<1.0	11.0	2,000
秋留橋 (秋川)	29年度	7.6	<0.5	<1.0	10.5	—
	30年度	7.5	<0.5	<1.0	10.9	—
東秋川橋 (秋川)	29年度	7.9	0.6	1.0	11.0	3,175
	30年度	7.3	<0.5	<1.0	11.0	3,050
舞知川 (秋川合流点)	29年度	7.9	0.7	1.0	10.5	—
	30年度	7.3	0.5	1.3	10.1	—
高橋上流 (養沢川)	29年度	7.6	<0.5	<1.0	10.3	220
	30年度	7.4	<0.5	<1.0	10.1	490

五日市解体下 (養沢川)	29年度	7.5	<0.5	<1.0	10.2	410
	30年度	7.4	<0.5	<1.0	10.4	595
小宮ふるさと 自然体験学校 前(養沢川)	29年度	7.5	0.6	6.0	11.0	-
	30年度	7.3	<0.5	<1.0	10.9	-
観音橋 (平井川)	29年度	8.1	0.7	<1.0	11.3	2,625
	30年度	7.7	0.5	<1.0	11.1	3,175
小宮久保橋 (平井川)	29年度	8.1	0.6	1.0	10.8	-
	30年度	7.8	0.5	2.0	10.8	-
新開橋 (平井川)	29年度	7.8	0.6	<1.0	10.3	-
	30年度	7.3	<0.5	1.3	10.5	-
多西橋 (平井川)	29年度	7.9	0.6	<1.0	10.7	2,475
	30年度	7.7	<0.5	<1.0	11.2	2,050
鯉川橋 (鯉川)	29年度	7.6	0.6	<1.0	10.0	-
	30年度	7.4	0.6	<1.0	10.2	-
氷沢川ヒル橋 (氷沢川)	29年度	7.7	1.7	1.0	10.1	-
	30年度	7.4	0.6	<1.0	10.5	-
参考値(※2)		6.5~8.5	1 mg/l 以下	25 mg/l 以下	7.5 mg/l 以上	50MPN/100ml 以下

※1 採水日：平成30年5月11日、10月11日(悪天候のため調査日変更)、11月5日、平成31年2月13日

※2 参考値は、河川AA類型(秋川・平井川)の環境基準値である。

※3 大腸菌群数以外の項目は環境基準を満たしていた。なお、大腸菌群数には土壌や植物由来のものが含まれており、経年変化で見ると急激な数値の上昇は見られないが、今後も経過観察していく。

(2) 清流保全条例施行に伴う湧水及び合流点の水質分析調査(採取日 平成31年2月21、22日)

項目・単位 調査場所	PH 水素イオン 濃度	BOD 生物化学的 酸素要求量	全窒素	アンモニア 性窒素	大腸菌群数
	-	mg/l	mg/l	mg/l	MPN/100ml
山田八幡神社裏	6.8	<0.5	4.01	0.02	49
真城寺	6.8	0.6	5.35	0.01	110
白滝神社	7.2	<0.5	5.14	0.01	110
牛沼287	6.7	<0.5	4.31	<0.01	140
雨間698	6.7	<0.5	3.19	<0.01	79
秋川グリーンスポーツ公園前	6.4	<0.5	3.43	<0.01	110
小川820	6.5	<0.5	6.51	<0.01	70
平沢617	-	-	-	-	-
広済寺付近	-	-	-	-	-
二宮お滝	6.3	<0.5	6.60	<0.01	110
二宮神社お池	6.5	0.7	7.08	0.03	170
八雲神社	6.3	0.6	6.87	<0.01	140
草花公園	6.4	0.5	4.73	<0.01	70
草花1127	6.3	<0.5	3.55	<0.01	70
草花小学校西	6.7	<0.5	1.51	<0.01	220

菅生夫婦橋下	6.6	<0.5	5.08	<0.01	49
折立坂	6.8	<0.5	3.46	<0.01	110
南秋留小横	7.8	0.6	2.38	0.01	79
ミユキ組宿舎（西）	7.7	0.8	2.49	0.02	110
舞知川	7.1	0.5	0.92	0.04	110
広済寺下	7.1	0.9	6.93	0.01	79
玉見ヶ崎公園隣	7.1	<0.5	6.78	0.01	140
養沢川	6.9	0.5	0.67	<0.01	49
盆堀川	6.7	<0.5	0.77	0.01	79
入野沢	6.9	0.6	2.88	0.02	79
北裏水路	6.9	<0.5	2.03	0.04	110
樽沢	7.1	0.5	3.85	0.02	70
宮の入沢	6.9	<0.5	1.85	0.01	140
横沢	6.9	<0.5	2.15	<0.01	79
引谷川	7.0	<0.5	1.71	0.01	140
溝ッ堀	6.8	0.9	2.15	0.11	220
北川原	7.1	5.2	8.84	3.76	280
ふれあい橋	-	-	-	-	-
鯉川合流	6.9	0.5	5.60	0.03	230
氷沢川	7.0	0.5	1.98	0.02	170
新開橋下	6.9	2.3	6.96	0.04	230
参考値（※１）	6.5～8.5	1mg/l 以下	基準なし	0.1mg/l 以下	50MPN/100ml 以下

※１ 湧水の環境基準がないため、河川ＡＡ類型（秋川・平井川）の環境基準値を参考値として記載する。

※２ 平沢６１７、広済寺付近及びふれあい橋では、湧水が確認できなかったため、調査を行っていない。

（３）地下水汚染調査（採取日 平成３０年４月１０日）

調査地点 調査項目		草花１ 2672 番地	草花２ 1837 番地	野 辺 408 番地	雨 間 652 番地	湧 上 312 番地	伊 奈 1133 番地	留 原 83 番地	環境基準 （水道水 の水質基 準）
トリクロ エチレン	２９年度	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 mg/l 以下
	３０年度	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
テトラクロ ロエチレン	２９年度	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 mg/l 以下
	３０年度	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
１，１，１－ トリクロロエタン	２９年度	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	1 mg/l 以下
	３０年度	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	

※ 全ての地点、全ての項目について環境基準を満たしていた。

（４）その他の水質関係調査

ア 工場等排水調査	年１回	９事業場
イ ゴルフ場水質調査	年１回	２か所
ウ 秋川・平井川大腸菌調査（ふん便性）	年１回	１１か所
エ 多摩川及び関連河川水質合同調査	年２回	２か所
オ 秋川・平井川水生生物調査	年２回	６か所

(5) 一般大気環境調査 (粉じん)

調査地点	平成28年度	平成29年度	平成30年度
屋城小学校	0.0239	0.0229	0.0344
農業会館	0.0406	0.0251	0.0179
一の谷児童館	0.0379	0.0182	0.0266
いきいきセンター	0.0323	0.0218	0.0153
阿伎留医療センター	0.0270	0.0321	0.0174
秋川給食センター	0.0300	0.0168	0.0161
旧秋川衛生組合	0.0378	-	-
野辺地内	0.0435	0.0223	0.0172
草花地内	0.0535	0.0239	0.0138
あきる野市役所	0.0271	0.0214	0.0162
五日市センター	0.0162	0.0157	0.0153
留原自治会館	0.0185	0.0082	0.0137
五日市出張所	0.0228	0.0119	0.0202
横沢クラブ	0.0182	0.0125	0.0224
ファインプラザ	0.0271	0.0177	0.0266
環境基準	1時間値の1日平均値が0.10以下かつ1時間値が0.20以下であること		

※1 測定日：平成31年1月24日～25日（24時間）

※2 平成29年度と平成30年度の旧秋川衛生組合については、改修工事中のため測定していない。

※3 全ての地点で環境基準を満たしていた。

(6) 市内主要地点での二酸化窒素調査（簡易調査法（フィルターバッジ法）による。（単位：ppm）

地 点 名	5月	9月	11月	2月	平均値
野辺交差点	0.018	0.016	0.018	0.017	0.017
小川交差点	0.022	0.019	0.020	0.018	0.020
二宮本宿交差点	0.019	0.017	0.020	0.017	0.018
氷沢橋交差点	0.013	0.015	0.018	0.015	0.015
菅生交差点	0.024	0.013	0.021	0.018	0.019
上菅生バス停	0.007	0.004	0.010	0.010	0.008
瀬戸岡交差点	0.020	0.018	0.020	0.017	0.019
秋川交差点	0.015	0.015	0.017	0.018	0.016
秋川駅西踏切	0.027	0.016	0.017	0.021	0.020
油平交差点	0.020	0.017	0.017	0.019	0.018
秋留橋	0.025	0.016	0.021	0.022	0.021
淵上交差点	0.021	0.016	0.019	0.022	0.020
山田交差点	0.014	0.009	0.013	0.017	0.013
留原交差点	0.007	0.005	0.008	0.014	0.009
小中野交差点	0.008	0.006	0.007	0.011	0.008
十里木交差点	0.006	0.006	0.010	0.011	0.008
青木平橋入口	0.005	0.006	0.008	0.010	0.007
小宮ふるさと自然体験学校入口	0.003	0.001	0.004	0.007	0.004
五日市出張所	0.004	0.003	0.007	0.009	0.006
東町交差点	0.011	0.010	0.012	0.014	0.012
武蔵五日市駅前	0.014	0.010	0.014	0.017	0.014

小机バス停	0.016	0.013	0.016	0.016	0.015
季節の平均濃度	0.015	0.011	0.014	0.015	0.014
環境基準	1時間値の1日平均値が0.04～0.06までのゾーン内又はそれ以下				

※ 全ての調査日、全ての地点で環境基準を満たしていた。

(7) 大気中ダイオキシン類調査

あきる野市役所	五日市出張所	環境基準
0.015	0.013	0.60以下

※1 測定日：平成30年8月17日～8月24日（168時間）

※2 全ての地点で環境基準を満たしていた。

(8) その他の調査

ア 工場等臭気調査	年1回	2工場
イ 道路沿道環境調査	年1回	4地点（交通量、騒音調査）
ウ 採石場周辺環境調査	年4回	粉じん・重金属、二酸化窒素、交通量等の調査
エ 事業所関連環境調査	対象事業所2社（水質関係）	

(9) 多摩西部における光化学スモッグの状況

ア 月別

() 内は都内全域の件数（単位：件）

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
学校情報	1 (1)	1 (3)	3 (6)	3 (6)	3 (6)	0 (0)	0 (0)	11 (22)
注 意 報	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (3)	1 (6)	0 (0)	0 (0)	2 (9)
警 報	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

イ 経年変化

年度	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
注意報発令回数	3	9	8	5	4	0	1	2

5 空間放射線測定

定点測定 6か所 4回測定実施（原則として3か月に1回）

6 生活排水対策事業

(1) 合併処理浄化槽設置事業補助金

人 槽	設置基数	補助単価（円）	補助金額（円）
5人	1	444,000	444,000
6～7人	6	486,000	2,916,000
8～10人	0	576,000	0
11～20人	0	1,092,000	0
合計	7		3,360,000

(2) 既存単独浄化槽撤去補助金

区分	撤去基数	補助単価（円）	補助金額（円）
既存単独浄化槽撤去補助	1	90,000	90,000

7 環境啓発事業

廃食油からの石鹼づくり事業 年間6回実施

1 ごみ処理事業

(1) ごみ収集実績

行政区域 内人口	収集 人口	分別区分	収集量及び 持込み量(t)		収集日1日当 り収集量(t)	1人1日 排出量(g)	収集 日数
80,854	80,854	可燃ごみ	収 集	17,746	173.980	601.3	102
			持込み	207		7.0	
		不燃ごみ	収 集	364	15.167	12.3	24
			持込み	4		0.1	
		資 源	収 集	3,924	81.750	133.0	48
		うちペットボトル	収 集	163	6.792	5.5	(24)
		うち白色トレイ	収 集	2	0.083	0.1	(24)
		うち小型電子機器	収 集	30	1.250	1.0	(24)
		有害ごみ	収 集	35	1.458	1.2	(24)
		粗大ごみ	収 集	375	4.032	12.7	(93)
			持込み	453		15.4	
		総 量		23,108		783.0	

※1 行政区域内人口及び収集人口は、平成30年10月1日現在である。

※2 () 内の日数は、他の収集日と重なるため、収集日の合計には含めない。

(2) 犬猫死体処理

(単位：頭)

区 分	犬	猫	その他	合 計
有 料	20	29	6	55
無 料	0	216	401	617
合 計	20	245	407	672

※ 飼主のいる場合は、有料(1頭につき2,200円)、飼主不明の場合は無料

(3) ごみ収集業者及び収集区域

業 者	区 域
島田産業(有)	雨間・野辺・小川・二宮・平沢・牛沼・秋留等
浦野産業(株)	草花・瀬戸岡・引田・淵上・秋川等
(株)鈴木商店	雨間・切欠・菅生・牛沼・大規模事業所
松村ダスト(有)	山田・伊奈・五日市・小中野・戸倉・乙津等

(4) 粗大ごみ収集体数

業 者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
島田産業(有)	350	314	434	335	334	301	353
浦野産業(株)	449	506	379	472	403	360	522
松村ダスト(有)	237	257	174	236	195	147	263
合 計	1,036	1,077	987	1,043	932	808	1,138
業 者	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
島田産業(有)	502	462	285	266	351	4,287	
浦野産業(株)	518	582	392	323	348	5,254	
松村ダスト(有)	281	240	150	125	224	2,529	
合 計	1,301	1,284	827	714	923	12,070	

(5) 減免用ごみ袋交付事業実績

該 当 項 目	A	B	C	D	E	H	I	J	合 計
減免世帯数	442	603	114	6	1,245	73	17	7	2,507

A 生活保護受給世帯

B 児童扶養手当受給世帯

C 特別児童扶養手当受給世帯

D 国民年金の遺族基礎年金受給世帯

E 65歳以上のみの世帯で、前年度の住民税が非課税の世帯

H 身体障害者福祉法により1級又は2級の身体障害者手帳の交付を受けている方が属する世帯で前年度の住民税が非課税の世帯

I 東京都愛の手帳交付要綱により、1度又は2度の愛の手帳の交付を受けている方が属する世帯で前年度の住民税が非課税の世帯

J 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律により1級の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方が属する世帯で前年度の住民税が非課税の世帯

(6) ボランティア袋配布事業実績 (1組10枚)

番号	配布場所		可燃 (大)	可燃 (小)	不燃 (大)	不燃 (小)	合 計
1	生活環境課	配布組数	1,164	120	73	29	1,386
2	宿直室	配布組数	3	0	0	0	3
3	市民課窓口	配布組数	8	0	2	0	10
4	あきる野ルピア	配布組数	96	17	1	5	119
5	五日市ファインプラザ	配布組数	97	22	0	2	121
6	五日市出張所	配布組数	72	33	4	1	110
7	中央公民館	配布組数	12	0	0	0	12
8	いきいきセンター	配布組数	2	2	0	0	4
9	増戸会館	配布組数	13	1	1	0	15
合 計		配布組数	1,467	195	81	37	1,780

2 し尿処理事業

(1) し尿処理実績

(人口は平成30年10月1日現在)

行政区域内 人 口	収集人口	総収集量 (kλ)	1日収集量 (kλ)	1人1日 排出量 (λ)	収集日数
80,854	835	2,244	9.235	7.36	243

(2) し尿処理業者及び収集区域

業 者	サンエー (有)	(有) 五日市清掃
区 域	秋川地区	五日市地区

3 し尿浄化槽清掃費助成事業

(1) し尿浄化槽汚泥収集実績

(人口は平成30年10月1日現在)

行政区域内 人 口	収集人口	総収集量 (kλ)	1日収集量 (kλ)	1人1日 排出量 (λ)	収集日数
80,854	5,399	3,315	13.642	1.68	243

(2) し尿浄化槽清掃費助成実績

予算現額 (円)	助成総額 (円)	件 数
5,600,000	5,117,660	643

4 一般廃棄物処理手数料徴収事務

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額	収入額	不納欠損額	還付 未済額	収入未済額
家 庭 ご み	161,468,000	166,540,800	166,540,800	0	0	0
事業所ごみ	54,689,000	51,809,400	51,809,400	0	0	0
粗 大 ご み	14,988,000	14,377,900	14,377,900	0	0	0
し 尿	5,494,000	5,845,600	5,637,400	14,750	0	193,450
動物死体処理	154,000	121,000	121,000	0	0	0
合 計	236,793,000	238,694,700	238,486,500	14,750	0	193,450

5 一般廃棄物処理施設見学

ごみ処理施設（西秋川衛生組合）

市内の小学校等 18 団体 529 人が施設を見学した。

6 ごみ減量化・資源化事業

(1) イベント関係

ア 開催日 平成30年5月12日 午前10時から午後3時まで

イ 場 所 あきる野環境フェスティバル2018会場内（都立秋留台公園）

ウ 内容等

(ア) フリーマーケット出店数 77店

(イ) リサイクル品（家具等）無料抽選会出品数 48点

(ウ) 生ごみ堆肥化講習会参加者数 26人

(エ) 携帯電話回収数 72個

(オ) イエローチョーク配布数 63個

(カ) 食品ロスマグネット配布数 58枚

(キ) ごみ減量の啓発パネル等展示

(2) 資源集団回収事業

ア 回収実績等

回 収 量 (kg)					
紙 類	鉄 類	アルミ類・銅等の金属	ビン類	ビンケース	合計
1,948,878	29,014	32,020	31,629	410	2,041,951
登録団体数	実施回数		売上額 (円)	奨励金 (円)	
115	876		2,956,704	24,541,583	

(奨励金：紙類等取引料5,846,634円含む。)

イ 資源集団回収団体表彰（優良3団体）

(3) EM菌生ごみ処理容器貸与事業実績

ア 平成30年度貸与数 62世帯・121個

イ 通算貸与数 2,713世帯・5,323個

(4) 環境問題啓発絵画（図画）・ポスター作品展示

ア 対象者 市内小学校4年生から中学校3年生まで

イ 応募数 482点（小学校115点、中学校367点）

ウ 審査結果 入賞12点（小学校6点、中学校6点）

エ 展示期間 平成30年11月12日から11月17日まで

オ 展示場所 市役所 1 階コミュニティホール

(5) 廃棄物減量等推進員（ごみ会議）活動実績

ア 会議 9 回開催（全体会議 6 回、編集会議 3 回）

イ へらすぞう発行 1 回

ウ 生ごみ減量 P R

エ 生ごみ堆肥化講習会 5 回 5 3 人参加

7 不法投棄防止対策事業

(1) 不法投棄防止パトロール事業

週 2 回（年間 1 0 0 日間）2 人 1 組で市内を巡回し、パトロールと回収作業を行った。

ア 回収件数 1, 0 4 1 件

イ 回収量 1 2. 6 9 0 トン

ウ リサイクル法等対象投棄件数 2 7 件

エ リサイクル法等対象投棄の内訳

（ア）家電リサイクル法 4 品目処理件数 2 7 件

（イ）パソコンリサイクル法品目処理件数 0 件

（ウ）自動車リサイクル法品目処理件数 0 件

（エ）処理不能件数 0 件

(2) 河川等清掃及び不法投棄ごみ収集

実 施 日	作業名	内 容
平成 3 0 年 5 月 2 7 日 及び 1 1 月 2 5 日	あきる野市 一斉清掃	町内会・自治会、漁協（五日市地区）、P T A 等の協力により、春、秋の 2 回、市内各地の道路や河川等の清掃を実施した。 町内会・自治会参加人数 1 参加人員 第 1 回 1 5, 3 1 7 人 第 2 回 1 3, 7 3 1 人 2 ごみ収集量 第 1 回 2 4. 7 4 t 第 2 回 2 2. 5 0 t
平成 3 0 年 4 月 1 日 ～平成 3 1 年 3 月 3 1 日	河川等ごみ 収集	あきる野市シルバー人材センター等に委託し、河川等の投棄ごみを収集した。 委託延べ人員 8 2 2 人
平成 3 0 年 4 月 1 0 日 ～平成 3 1 年 3 月 1 0 日	団体による 河川等清掃	市内小中学校 P T A により、河川等の清掃を実施した。 参加延べ人員 8, 3 2 3 人 (うち河川は 1, 1 4 5 人)

8 斎場事業

(1) 火葬場使用状況

(単位：回)

市町村名	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
あきる野市	63	70	61	69	65	72	73	70	78	75	70	88	854
日 の 出 町	23	23	18	19	17	22	23	15	18	25	29	21	253
檜 原 村	7	5	5	6	5	7	7	8	7	7	8	5	77
奥 多 摩 町	7	17	14	9	19	10	9	9	13	9	12	15	143
組 合 外	7	4	6	6	5	7	11	7	10	11	11	7	92
合 計	107	119	104	109	111	118	123	109	126	127	130	136	1, 419

(2) 斎場使用状況

(単位：回)

市町村名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
あきる野市	23	23	14	21	18	29	28	21	28	24	18	23	270
日の出町	10	9	8	8	9	7	9	7	11	11	13	10	112
檜原村	3	1	0	2	0	3	2	2	1	2	3	1	20
奥多摩町	1	2	5	4	5	3	1	2	4	2	4	4	37
組合外	1	1	3	1	1	3	3	1	4	3	1	5	27
合計	38	36	30	36	33	45	43	33	48	42	39	43	466

9 家庭用小型焼却炉無料回収事業

ダイオキシン等を出さない適正なごみ処理を推進するため、家庭用小型焼却炉の無料回収（1基）を実施した。

農林課 農政係

1 農業総務事業

農業会館の利用実績について

施設区分	利用件数 (延べ利用 団体数)	使用料			
		徴収分		減免分	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)
展示室	405	397	301,600	8	21,400
会議室	63	60	47,600	3	6,800
研修室	3	0	0	3	6,000
集会室	170	126	131,000	44	58,750
合計	641	583	480,200	58	92,950

2 農業振興事業

(1) 農業振興資金利子補給事業の利用状況

資金の用途	件数	貸付金 (千円)	利子補給額 (円)	備考
農産物生産施設資金	1	1,170	4,518	パイプハウス、加工所
市長が認めた災害復興 資金	3	3,970	15,460	雪害による被災パイプ ハウス等
合計	4	5,140	19,978	

(2) 市民農園貸付状況等

ア 貸付状況

農園	区画数	貸付区画数	利用者数
上ノ台農園	64	63	36
上ノ台第2農園	76	70	49
森ノ上農園	86	82	50
合計	226	215	135

イ 利用者負担金 1,548,000円

ウ 技術指導

(ア) 非常勤職員賃金 1,079,488円(管理・指導 年間233日)

(イ) 実地講習会

平成30年4月28日(初心者講習及び夏野菜の作り方:参加者13人)

平成30年9月8日(秋冬野菜の植え付けや管理等:参加者13人)

(ウ) 農作物展示会

平成30年11月10日、11日(産業祭品評会々場)

3 秋川ファーマーズセンター管理事業

指定管理者による管理

名称	指定管理者	指定期間	平成30年度 利用者数
秋川ファーマーズセンター	秋川農業協同組合	平成26年 4月 1日 ～平成31年 3月 31日	284,595

4 有害鳥獣捕獲事業

農作物等に対する有害鳥獣等の捕獲の状況

実 施 期 間	獣 種	実 施 区 域	頭羽数
平成30年 4月 1日 ～平成31年 3月31日	イノシシ	市内全域（市街地を除く。）	39頭
	サル	五日市地区（市街地を除く。） 増戸、五日市、戸倉、小宮地区	5頭
	ハクビシン タヌキ アライグマ アナグマ	市内全域	217頭
	キジバト カラス ドバト ムクドリ ヒヨドリ	市内全域（市街地を除く。）	186羽
	シカ	五日市地区 戸倉、乙津、養沢、網代	10頭

5 獣害防止対策事業

（1）獣害防止警戒システム整備事業委託

ア 委託先 東京都猟友会五日市地区

イ 委託業務 サルの追い払い

五日市地区（五日市・戸倉・小宮地区）2人 150日間

ウ 委託料 3,844,400円

（2）加害獣侵入防止対策事業

ア 簡易電気柵購入 5セット 199,233円

イ 簡易電気柵貸出件数 40件

ウ 電気柵（落合地区）300m 1,410,000円

エ 電気柵（盆堀地区）207m 1,104,000円

（3）有害獣捕獲事業

ア 東京都猟友会五日市地区 2,850,000円

イ 捕獲鳥獣殺処分委託（ハクビシン等）210,000円

ウ 捕獲鳥獣殺処分委託（カラス等）100,000円

（4）あきる野の農と生態系を守り隊事業補助金

ア 保険加入補助 33件 64,500円

イ 技能講習補助 9件 110,700円

ウ 診断書料補助 7件 23,520円

エ 狩猟免許取得補助 2件 20,000円

（5）農作物獣害対策地域強化推進事業

ア 電気柵（落合地区）400m 1,783,331円

イ 電気柵（盆堀地区）534m 2,000,000円

6 地域農政推進対策事業

(1) 認定農業者等担い手育成総合支援協議会

開 催 日	内 容
平成30年11月13日	平成29年度事業報告について 平成30年度アクションプログラム（案）について 平成30年度事業計画（案）について 新規就農者提案型経営支援事業審査について
平成31年 2月20日	新規就農者提案型経営支援事業審査について 農業経営改善計画認定審査（新規認定）について 農業経営改善計画認定審査（更新認定）について

(2) 新規就農者相談センターの設置

新規就農者相談員を1人配置し、新規就農を目指す者に対して支援を行った。

支援対象者 3人

7 畜産振興事業

(1) 家畜環境衛生保全

(2) 家畜公害防止奨励事業

農業振興会畜産部に対し、畜産公害防止のため薬剤購入補助を行った。

交付金額 220,000円

8 自然休養村事業

(1) 戸倉運動場管理及び使用状況

利用件数 [利用日数] (利用団体数)	使 用 料			
	徴 収 分		減 免 分	
	件数	金 額 (円)	件数	金 額 (円)
264 [117] (45)	165	132,000	99	79,200

(2) 運動場整備委託

ア 草刈及び植木の剪定（7回／年）

イ シルバー人材センター等 251,681円

9 用排水路整備事業

(1) 用排水路清掃委託

番号	件 名	金 額 (円)
1	小川久保用排水路	299,700
2	下代継用排水路	246,240
3	東郷前上流用排水路	75,600
4	西郷前用排水路	299,160
5	天神下用排水路	167,400
6	下川原用水路	299,700

(2) 農地及び農業用施設災害復旧事業

平成26年6月に発生した集中豪雨により、鳥居場会館西崖線が法面崩落し、その土砂及びコンクリート塊が堆積し真下にある東郷前用水の水路が閉塞する被害が発生した。この災害につい

て、水路の復旧と崩落した法面の設計及び工事は平成２６年に完了し、平成３０年度はその他の上・下流の鳥居場地区農地防災事業実施設計委託の４年計画の２期目として、法面の設計・工事を実施した。

ア 法面改修工事設計委託 東京都土地改良事業団体連合会 ９７２，０００円

イ 法面改修工事 (有) 田嶋土建 ４９，０００，０００円

10 農業振興地域農用地除外事務

(１) 件数 １件（４筆）

(２) 面積 １，６２０．３６㎡

11 農業振興地域農用地証明書発行件数 ４件

12 農業団体育成事業

(１) 農業振興事業業務委託

あきる野市農業振興会 ２，０００，０００円

(２) 主な事業内容

ア 家畜疫病予防事業

法定伝染病予防対策として、次の予防接種を行い、伝染病の発生を未然に防いだ。

(ア) IBR 予防接種

４酪農家の乳牛９５頭に六種混合を接種した。

(イ) 鶏のマレック・ニューカッスル病予防接種

２養鶏農家の１４，８００羽に接種した。

イ 畜産公害対策事業

畜産経営が安心して営めるように、畜産農家（７戸）が希望する畜舎消毒用等の薬剤を一括購入し、ハエや蚊などの発生を軽減させ畜舎の環境衛生に努めた。

ウ 農業後継者育成対策事業

将来の農業のあり方・多様化した農業の諸問題について、農業後継者部が中心となって「魅力ある農業」の研究を行った。

(ア) 意見交換会の実施

農業委員及び認定農業者と日野市直売所「みなみの恵み」の視察と意見交換会を実施した。

(イ) 家族交流会の実施

家族間の情報交換をするため、家族交流会を実施し交流を深めた。

エ 農畜産物生産技術育成事業

優良牛品種改良研究

泌乳能力の優れている種牛の凍結精液を導入し、品種改良による乳量増大を目指すことで経営の安定を図った。

オ 先進地視察研修等事業

部会等	開催日	内 容
振興会	平成３０年 ８月２９日	「高冷地野菜・花き振興センター」等視察 山梨県北斗市

農産物 生産部	平成30年 9月26日 10月10日 11月 2日 平成31年 1月30日 2月19日 3月26日	「男女共同参画フォーラム」参加 「第8回農業ワールド」視察 千葉県幕張メッセ 「東京都農業祭」視察 明治神宮 「第68回関東東海花の展覧会」出品 池袋 「神奈川県農業技術センター」視察 神奈川県平塚市 「(株)アグリみらい21」視察 群馬県太田市
後継者部	平成31年1月10日	「東毛酪農業協同組合」及び「邑楽館林農協農産物直売所ぼんぽこ」視察 群馬県

カ 農業振興対策事業

市農業の発展と都市との調和を考え、市民に「あきる野農業」をPRするとともに、農業者自身も幅広い知識を習得した。また、農業者相互の連携を密にすることにより農業振興を図った。

(ア) 第24回あきる野市産業祭参加 平成30年11月10日、11日

- a 農産物品評会 出品点数359点
- b たい肥の無料配布 先着150人
- c 仔牛の写生会 参加者120人
- d のらぼう菜苗の無料配布 各日先着100人
- e おやき・さつまスティックの販売

(イ) 立毛審査会の実施 平成30年7月31日

対象作物 「ナス」 参加者8人

(ウ) 農業用資材の調査研究

環境に優しい農業資材（生分解性マルチフィルム）の調査研究

(エ) 農産物盗難防止活動 平成30年6月5日から10月2日まで

盗難防止看板の設置及びパトロール

(オ) 講習会の実施 平成30年6月4日

テーマ 「秋・夏対策用防除について」 28人参加

(カ) 農業振興会だよりの発行

年3回発行（6月・9月・1月）

13 田園景観保全事業

市内の水田にレンゲソウの種子を配布し、景観整備を行った。

配布地区 小川地区、引田地区

14 農業経営基盤強化促進法による農地の利用集積事業

利用権の設定

- (1) 件数 26件（44筆）
- (2) 面積 31,203㎡
- (3) 契約期間 3年～10年

15 「革新的技術開発・緊急展開事業」（野生鳥獣対策コンソーシアム）

農林水産省の研究開発支援事業である「革新的技術開発・緊急展開事業」として採択された「ド

ローンを活用した野生鳥獣の生息状況把握及び農作物被害防止方策等に関する研究」に取り組む「野生鳥獣対策コンソーシアム」（ドローン関連企業、市、（一社）大日本猟友会、研究機関等により構成）に参画し、あきる野市内の西部山間地域の農作物被害を把握するため、農業者等へのアンケート、ドローンによる調査・実証研究を行った。

(1) ドローンによるイノシシ生息調査

調査・実証研究	実施日	実施地区
イノシシ生息調査	平成30年 5月13日	盆堀・横沢地区
イノシシ生息調査	平成30年 6月14日～15日	盆堀・横沢地区
イノシシ生息調査	平成30年 7月24日～26日	盆堀・横沢地区
イノシシ生息調査	平成30年 8月21日～23日	盆堀・横沢地区
イノシシ生息調査	平成30年 9月18日～20日	盆堀・横沢地区
イノシシ生息調査	平成30年 11月26日～28日	盆堀・横沢地区
イノシシ生息調査	平成30年 12月25日～27日	盆堀・横沢地区

(2) 集落環境調査（草刈り、枝打ち等）

ア 場所 盆堀（東平地区）

イ 地元説明会 平成30年10月3日（水）

ウ 実施日 平成30年10月24日（水）

16 新規就農者提案型農業経営支援事業

市内で新たに農業経営を始める農業者に対し、農業経営を行うために必要な施設、機械等の購入に要する経費の一部について補助を行った。

2戸の新規就農者が、新たな担い手候補として営農開始することができ、農業経営者の育成を進めることができた。

(1) 補助対象者 新規就農者 2戸

(2) 補助事業の内容 一輪管理機、ハンマーモア、セット動噴、ロータリーソイラー
サツマイモ洗浄機、トラクター用バケット

(3) 補助金額 1,000,000円

17 青年就農給付金事業

国の新規就農・経営継承総合支援事業実施要綱に基づき、農業従事者の減少及び高齢化に対応するため、経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して、あきる野市青年就農給付金を支給した。

(1) 補助対象者 新規就農者 2戸

(2) 補助金額 3,000,000円

18 魚道維持管理事業

魚道の設置目的である「魚が常に溯上、降下できる河川」を実現するためには、魚道が常に機能していることが不可欠である。しかし魚道は出水による土砂や流木等による閉塞・流況変化等により、常に機能している状態を維持することは難しいことから、市では、魚道の一体的な管理体制の構築を目指して、秋川漁業協同組合と連携し、魚道管理に携わる各機関が現状における管理上の問題点や課題に係る情報を共有しつつ、魚道の維持管理を行った。

番号	件 名	金 額（円）
1	魚道維持管理委託 引田堰内（その１）	2 9 7 , 0 0 0
2	魚道維持管理委託 下代継堰内	2 9 8 , 0 8 0
3	魚道維持管理委託 南郷堰内	2 8 9 , 9 8 0
4	魚道維持管理委託 引田堰内（その２）	2 9 8 , 0 8 0

19 漁場環境整備事業

江戸前アユの復活に向けた取組として、東京都との連携により、秋川漁業協同組合が実施する魚道整備事業等に対する支援を行った。

- （１）補助対象者 秋川漁業協同組合
- （２）補助事業内容 昭和堰魚道整備
- （３）補助金額 1 , 2 4 8 , 4 8 0 円

20 都市農業活性化支援事業

意欲のある農業者に対して都市の有利性を活かした農業経営力を強化するため、施設や農機具等の導入を支援し、地域農畜産物の生産性、品質の向上、高付加価値化を実現した。また、市民等に新鮮で安全な農畜産物を１年間通じて供給することで、地産地消型農業を推進した。

- （１）補助対象者 市内農家４戸
- （２）補助事業内容 ハウス３棟、トラクター３台、耕うん機２台、保冷库１基
- （３）補助金額 1 8 , 9 6 0 , 0 0 0 円

21 東京型次世代アグリシステム現地実証事業経費

東京都農林総合研究センターが開発した「東京型次世代アグリシステム」を普及拡大するため、生産技術の導入を目指す生産者との連携や現地の実証施設におけるシステム導入効果を検証した。

- （１）補助対象者 市内農家１戸
- （２）補助事業内容 パイプハウス２連棟
- （３）補助金額 2 9 , 1 8 0 , 0 0 0 円

22 内水面漁業振興対策事業経費

秋川漁業協同組合が管理している秋川国際マス釣り場については、養沢地区の観光拠点となっており、毎年多くの利用者が訪れている。近年では、外国人や女性を含む利用客も増加しており、設置されている施設の老朽化、手狭なトイレなどの改善するため、東京都の内水面事業を活用し、改善を図った。

- （１）補助対象者 秋川漁業協同組合
- （２）補助事業内容 秋川国際マス釣場駐車場内トイレ改修工事
秋川国際マス釣場駐車場改修工事
秋川国際マス釣場駐車場受付所建設工事
- （３）補助金額 2 1 , 6 4 3 , 0 0 0 円

農林課 林務係

1 市有林整備事業

市有林には、市が直接管理している森林と個人に貸し付けている森林があり、保育・管理、境界確認作業等を計画的に実施している。

(1) 市有林境界調査

ア 管理図作成面積 47.38 ha

イ 事業費 1,472,670 円

(2) 市直営林の管理育成

ア 面積 7.60 ha

イ 事業費 3,223,260 円

施 業 場 所	面積 (ha) 等	内 容
あきる野市戸倉地内	6.30	間伐工、大刈工
あきる野市乙津地内	1.30	除伐工
あきる野市高尾地内	尾根筋	大刈工

2 林道事業

林業生産基盤強化のため、林道の開設、改良を進めるとともに、市が管理する全15路線でおおむね1か月に一度は安全点検を行い、必要に応じて路側の草刈りや側溝の清掃等の維持管理を実施している。

工 事 件 名	工 事 内 容	工 事 費 (円)
林道南沢線改良工事	土工1.0式 路面工A=2,647.2 m ² 法面保護工A=269.0 m ²	23,200,000
林道鍾乳洞沢線開設工事	土工1.0式 工事施工延長L=41.8 m 補強土壁工A=221.7 m ² 法面保護工A=171.8 m ² ガードレール設置工L=47.2 m	15,000,000
林道維持補修工事 (林道大沢線外1路線)	路肩補修工事等1.0式	4,792,500

3 森林再生事業

木材価格の低迷等によって林業の採算性が低下し、手入れが行われず、荒廃が進んでいるスギ・ヒノキの人工林について、3割間伐を実施した(現地確認実施)。

(1) 協定書締結件数 21 件

(2) 実施面積 46.07 ha

(3) 事業費 35,471,042 円(東京都負担)

4 枝打ち事業

過去に森林再生事業(間伐)を実施した森林について、枝下から一律4.0mの枝打ちを行った。

(1) 承諾者数 11 人

(2) 実施面積 7.92 ha

(3) 事業費 13,361,469 円(東京都負担)

5 森林計画関係

(1) 森林整備推進協議会開催	1 回
(2) 森林経営計画認定及び変更認定	1 2 件
(3) 森林経営計画認定同意及び変更認定同意（属人計画）	0 件
(4) 森林経営計画認定区域外伐採届（森林法第10条の8）処理	4 1 件
(5) 森林経営計画認定区域伐採届（森林法第15条）処理	1 0 件
(6) 保安林内間伐届（森林法第34条）受理通知処理	8 件
(7) 森林の土地の所有者届出書受理及び通知	7 件

6 採石事業関係

(1) 採石生産量報告書受理件数	2 4 件（2 社）
(2) 採石場パトロール	平成30年11月13日実施（2 か所）

7 治山事業

(1) 治山工事協議（現地確認）	1 4 件
(2) 治山工事に伴う測量設計・調査等（東京都施工）	1 件
(3) 治山工事（東京都施工）	3 か所（戸倉・養沢地内）

8 他自治体等との連携事業

(1) みなと区民の森・みなと森と水ネットワーク会議	
ア みなと区民の森調整連絡会開催	0 回
イ みなと区民の森環境学習（間伐体験・生き物観察）開催	1 7 回
ウ みなと森と水ネットワーク会議開催	3 回
エ みなとモデル二酸化炭素固定認証制度事業者追加登録件数	0 件
オ みなとモデル二酸化炭素固定認証書発行件数	0 件
(2) 新宿の森 あきる野	
「新宿の森 あきる野」自然体験ツアー	平成30年11月3日実施
(3) サントリー天然水の森奥多摩	
ア 間伐	4. 2 1 ha
イ 獣害防護柵設置	8 0 m × 1 か所
ウ その他	歩道改修、土留設置、除伐、植生調査等

1 商工業振興事業

商工会への補助により、市内商工業の改善や発展が図られたとともに、商店街への補助及びイベント開催支援を通じ、市内商工業の振興に資した。

また、市内事業所への融資及び利子補給事業を通じ、市内中小企業の振興及び経営改善に資した。

(1) 商工振興補助事業

ア 商工会補助事業

あきる野商工会 商工会事業補助額 25,650,000円

イ あきる野活力みなぎる交付金

(ア) 住宅改修助成事業 商工会事業補助額 8,000,000円

個人住宅の改修工事等の一部を助成することで、事業者の利用促進とともに、住民サービスの向上や地域資産の充実を図ることで、需要の喚起を促し、景気を刺激し、地域経済の活性化に寄与することを目的として実施した。

- a 申請件数 215件
- b 完了済件数 213件
- c 施工事業所数 42社
- d 総合計請負金額 228,582,327円
- e 助成金額 10,250,000円

(イ) ご当地グルメ情報発信事業 商工会事業補助額 500,000円

包括的な相互協力・連携に関する協定を締結している学校法人明星学苑明星大学の学生による「あきない あきがわ ぐるめマップ」の作成を支援し、新聞折り込みや駅・店舗への設置により地域内外に広く情報発信を行い、地域産業の更なる振興を図った。

ウ 創業就労支援補助事業 商工会事業補助額 14,300,000円

あきる野創業・就労・事業承継支援ステーションBi@Sta（ビスタ）を活用し、創業、就労、事業承継に係る相談業務を中心とした支援を実施し、市内商工業者の振興と就労希望者への情報提供を図った。

(ア) 相談実績 568件（うち創業相談191件、就労相談30件、事業承継相談9件）

専門相談員（中小企業診断士）による創業・事業承継相談のほか、ハローワーク青梅の職員による月1回の就労相談会（時間限定で子育てひろば「こころの」で就労ミニ相談会も実施）を実施した。

(イ) 創業実績 16件

(ウ) 創業塾 平成30年9月29日から10月27日まで（全5回） 参加者17人

(エ) チャレンジショップ利用実績 22件

(オ) スモール・オフィス利用実績 29件

(カ) ミニセミナー 平成30年4月から平成31年3月まで（全12回） 参加者51人

(キ) 図書館セミナー 平成31年3月16日 参加者13人

(ク) 事業承継セミナー 平成31年2月18日 参加者33人

エ 商店街振興補助事業

(ア) イベント事業（東京都商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金併用、市補助含む。）

商 店 会 名	事 業 名	補 助 額 (円)
あきる野商店会連合会	あきる野商店会連合会お花プレゼントセール	232,000
	あきる野商店会連合会感謝祭	352,000
秋川駅北口会	秋川駅北口会フェスティバル	1,256,000
	あきる野ウィンターフェスティバル	592,000
原店商店会	原店ナイトバザール	688,000
	原店歳末セール	241,000
野辺商興会	ワッショイ・ワッショイセール	421,000
五日市商和会	お中元大売出しと五小（五日市小学校）ソーラン	380,000
	歳末大売出し&イルミネーション	326,000
多西商栄会	感謝セール	120,000
	歳末感謝セール	117,000
増戸商栄会	増戸ますます市	1,030,000
秋川駅南口商店会	さくらまつりセール	545,000
	ウィンターフェスタ	482,000
二宮商栄会	歳末二宮商栄会大売り出し	248,000

(イ) 活性化事業（東京都商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金併用、市補助含む。）

商 店 会 名	事 業 名	補 助 額 (円)
増戸商栄会	統一看板設置事業	648,000

オ 商店街装飾灯補助事業（装飾灯の維持管理経費に対する補助）

商店会名	基 数	補助額（円）
原店商店会	LED 33	66,000
東秋留北口商栄会	LED 20	40,000
五日市商和会	LED 80	160,000

カ 夏まつり補助事業

開 催 日	平成30年8月4日
場 所	J R 秋川駅北口大通り周辺
来場者数	約31,000人
補 助 額	2,548,528円（第16回あきる野夏まつり運営委員会補助）

キ ヨルイチ補助事業

開 催 日	平成30年8月25日
場 所	檜原街道沿いの地域（J R 武蔵五日市駅～小中野交差点）
来場者数	約12,000人
補 助 額	676,000円（第16回ヨルイチ実行委員会補助）

ク 産業祭補助事業

開 催 日	平成30年11月10日、11日
場 所	都立秋留台公園
来場者数	約48,000人（1日目26,000人、2日目22,000人）
補 助 額	5,444,512円（第24回あきる野市産業祭運営委員会補助）

(2) 中小企業振興資金融資及び利子補給事業

ア 融資件数 27件

イ 融資額 143,800千円

	利子補給件数	利子補給額(円)
上半期	103	312,858
下半期	106	357,106

ウ 保証料助成額

開業資金 7件 180,569円

(3) 小規模事業者経営改善資金利子補給

	利子補給件数	利子補給額(円)
上半期	210	4,705,061
下半期	215	4,757,384

2 地域産業活性化事業

地域経済力の強化を目指し、商工業、観光等全ての産業の効果的な振興を図るため、市民と協働で活性化事業を実施した。

(1) 秋川駅北口地区産業活性化戦略委員会

ア 会議 8回開催

イ 実施事業

(ア) イルミネーション事業

イルミネーションの設置を通じ、秋川駅周辺地区への誘客及び活性化に寄与した。

設置場所・点灯期間

秋川駅北口駅前 平成30年11月2日から平成31年1月14日まで

秋川駅南口駅前・駅前大通り 平成30年10月18日から平成31年1月31日まで

(イ) 秋川駅周辺地区まちづくり研究事業

勉強会(「秋川駅周辺のまちづくり」「秋川駅周辺地区の活性化」「他自治体における活性化事業及びまちづくり事業の取組」の計3回)及び視察研修(川越市商店街)を通じ、秋川駅周辺地区の更なる活性化に向けた研究等に寄与した。

(2) 五日市活性化戦略委員会

ア 会議 11回開催

イ 実施事業

(ア) 第3回秋川溪谷雛めぐり事業

平成31年2月9日から3月10日まで、JR武蔵五日市駅及び武蔵増戸駅周辺の商店や公共施設等にお雛様等を展示し、五日市地区の魅力発信及び来訪者の増加による地域活性化を図った。

(イ) まちゼミ勉強会

まちゼミ勉強会を開催し、まちゼミ事業に対する理解を深め、地域の賑わいにつながる商店の活性化策の研究に寄与した。

(ウ) 空き店舗活用事業

五日市地区に増加した空き店舗について対策を講じるため、昭島市及び八王子市のまちづくり拠点の視察を行い、空き店舗活用に向けたイメージづくりや調査研究の機会とした。

(3) 養沢活性化委員会

ア 会議 10回開催

イ 実施事業

(ア) ライトアップ事業(地域内の桜、もみじをライトアップ)

(イ) 景観整備事業(ミツバツツジの植樹、伐採)

(ウ) 果樹園整備事業(ブルーベリー畑の草刈、ブルーベリーの販売、新商品(柚子胡椒)の試作)

(エ) ホタル育成事業(カワニナを増やす活動、平成30年7月1日にホタルの夕べ開催、ホタル飼育技術講習会への参加)

(オ) 空き家対策事業(今後の空き家活用を検討し、空き家の調査やパンフレットを作成した。)

3 中小企業信用保険法の規定に基づく認定事業

特定の要件により経営の安定に支障を生じている中小企業者について、信用保証協会による補償限度額の別枠化等を行うことにより、市内企業の経営安定化に寄与した。

(1) 業種関係認定(法第2条第5項第5号) 2件

(2) 東日本大震災関係認定(法第128条第1項第1号、第2号) 0件

4 大規模小売店舗立地法に基づく届出

平成30年度は大規模小売店舗立地法に基づく届出はなく、市内における大規模小売店舗の出店や変更等の動きは見られなかった。

5 砂利採取法に関する意見調整

砂利採取事業者に対する認可更新のための都からの意見照会を受け、当該町内会、耕地組合及び市関係部署等からの意見聴取を行い、結果について都へ報告した。これにより、当該事業者による砂利採取の継続が可能となった。なお、認可更新については、町内会、耕地組合及び市関係部署の理解を得ている。

(1) 新規砂利採取件数 0件

(2) 継続砂利採取件数 1件

6 市民ローン貸付けに伴う保証機関保証料補助

市民が生活の安定を図るために、臨時的に支出する資金について融資をあっせんする体制を整えている。相談件数が3件あったが、申請には至らず融資実行はなかった。

相談件数	申請件数	融資実行件数
3件	0件	0件

7 消費者行政関係

消費者相談の実施を通じて消費者トラブルや被害の解決を図った。また、講座や啓発事業の実施により、市民の消費者被害防止や消費生活の向上に寄与した。

(1) 消費者相談

ア 開催日数 92日

イ 相談件数 206件

(2) 消費生活講座

開催日	講座名	受講者数
平成30年 8月24日	夏休み子ども消費生活講座 「知ろう地域の名産品！～『あきる野の匠』が教える！しょうゆづくりとMYしょうゆづくり体験～」	37

(3) 消費者啓発

ア 産業祭会場での消費者トラブル・被害防止啓発用冊子等の配布

(ア) 実施日 平成30年11月10日

(イ) 場 所 産業祭会場内（都立秋留台公園）

(ウ) 内 容

消費生活相談員による消費生活相談窓口のPR及び消費者被害防止啓発を目的に啓発用冊子等を配布した。

イ 成人式出席者への消費者被害防止啓発リーフレット（若者用）配布

ウ 広報「あきる野」への消費生活情報掲載

「くらしの知恵袋～消費生活相談情報～」と題し、月1回、消費者被害防止や消費生活に資する情報を掲載した。

エ 消費者被害防止啓発パンフレットの作成と配布

「若者世代から高齢者まで みんなの消費生活トラブル回避術」を作成し、平成31年3月12日から31日までの間に全戸配布し、周知・啓発を行った。

(4) 西多摩地域消費者行政事務連絡会・西多摩地域広域行政圏消費生活相談広域連携連絡会議

西多摩地域8市町村（青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、奥多摩町、檜原村）における消費者行政の円滑な推進及び相談広域連携の円滑な運営を図ることを目的とし、消費生活講座の共同開催や消費生活相談の相互受付を実施した。

平成30年度は、連絡会4回、講座2回をあきる野市にて実施した。

開催日	講座名	受講者数
平成30年11月27日	「身近になったインターネット ～その中に潜む危険性～」	20
平成31年 2月25日	「災害時の食を考える ～いつもの食材のいざという時の使い方～」	21

8 第24回あきる野市民まつり実行委員会

あきる野市民まつり実行委員会を設置し、市民まつりの計画と実施の運営を円滑に行った。

事務担当者会議 平成30年7月6日

9 労働行政関係

ハローワーク、東京しごとセンター多摩と共催でセミナーを実施し、市民の就職活動を支援した。

また、就労支援に係る情報を広報やホームページに掲載し、市民へ就職に資する情報を伝えた。

(1) あきる野ハローワーク求人情報コーナー

ア 来所者 11,572人（求職者 11,516人、求人者 56人）

イ 就職者 797人

(2) 労働セミナー及び面接会

ア 中高年齢者就職支援セミナー（ハローワーク青梅との共催事業）

開催日	テーマ	受講者数
平成30年 7月13日	効果的な再就職活動をするために	27
平成31年 1月25日		40

イ 面接会（ハローワーク青梅との共催事業）

開催日	参加企業数（社）	当日面接人数	採用人数
平成30年 7月13日	3	11	1
平成31年 1月25日	4	17	7

ウ 就職支援セミナー（ハローワーク青梅との共催事業）

開催日	コース	参加者数
平成30年 5月28日	応募書類の書き方（座学）	13
6月25日	面接対策（座学）	27
7月30日	自己理解・職業理解（座学）	10
8月27日	応募書類の書き方（座学）	16
9月10日	面接対策（座学）	10
10月26日	自己理解・職業理解（座学）	13
11月19日	応募書類の書き方（座学）	6
12月17日	面接対策（座学）	15
平成31年 1月28日	自己理解・職業理解（座学）	15
2月25日	応募書類の書き方（座学）	16
3月25日	面接対策（座学）	10
合計		151

エ 就職面接会（東京しごとセンター多摩との共催事業）

開催日	参加企業数	当日面接人数	採用人数	開催場所
平成30年 9月11日	20	90	7	職業能力開発センター
平成30年 9月19日	10	57	3	八王子市
平成30年11月27日	10	43	5	福生市

10 五日市ひろば利用状況

五日市ひろばを市民の交流の場として開放することで、商店街の振興と地域産業の総合的な発展を図った。

利用件数	使用料				使用日数	利用人数
	件数	徴収分（円）	件数	減免分（円）		
32	18	38,400	14	99,200	111	12,073

11 青梅線沿線地域産業クラスター協議会

JR 青梅線、五日市線及び八高線沿線地域の企業を有機的なネットワークで結び付け、取引、連携、協働、協業及び健全な競争を促進することにより、地域産業の振興に寄与した。

（１）会議 運営協議会 1回 事務局会議 4回 ワーキンググループ 5回

（２）事業

ア 研修事業

（ア）新入社員研修（全3回、延べ120人）

（イ）中堅社員研修（全3回、延べ86人）

（ウ）管理監督者研修（全2回、延べ22人）

イ 人材確保支援事業

(ア) 杏林大学学内合同企業説明会

- a 開催日 平成30年10月25日
- b 参加企業数 5社
- c 参加学生数 7人

(イ) 駿河台大学学内合同企業説明会

- a 開催日 平成30年7月26日
- b 参加企業数 9社
- c 参加者数 13人

(ウ) 中途採用向け合同企業説明会（都立多摩職業能力開発センター）

- a 開催日 平成30年9月11日
- b 参加企業数 20社
- c 参加者数 120人

ウ 企業視察見学会

(ア) 開催日 平成30年11月13日

(イ) 視察場所 日本電子株式会社（昭島市）

(ウ) 参加者数 23人

エ ポータルサイト運営事業 掲載企業数45社

12 食品放射性物質検査事業

業者委託により検査を実施し、消費者の食に対する安心・安全の確保に寄与した。

- (1) 検査内容 食材中の放射性物質（セシウム134とセシウム137）の濃度を測定
- (2) 実施期間 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで
- (3) 検査対象 市内小中学校・保育園・幼稚園・農産物直売所
- (4) 検査検体数 337検体
- (5) 検査結果

ア 不検出 337件

イ 検出 0件

※ 検出限界値（各測定における検出可能な最小数値のこと）未満の場合には不検出となる。

13 あきる野市商店街振興プラン行動計画（あきる野市商店街振興プラン行動計画連絡会）

あきる野市商店街振興プランについて、あきる野市総合計画の改定時期に当たる令和2年度まで継続とし、より具体的かつ実効的な取組を進めるため、あきる野市商店街振興プラン行動計画を策定し、商店会長、各支援機関と連携して、連絡会を開催した。

開催状況 連絡会 2回開催

14 東京都商店街リノベーション支援事業（五日市商和会）

東京都の商店街振興施策である「東京都商店街リノベーション支援事業」の支援商店街として五日市商和会が決定され、空き店舗等の活用を含めた市街地再生の取組が行われた。

(1) 会議 6回開催

(2) 実施事業

ア 五日市まちづくり通信の発刊 4回

イ 空き店舗調査及び物件オーナーへの聞き取り調査

(平成30年11月から平成31年2月まで)

ウ 「東京五日市 セセらぎ暮らしプロジェクト」facebookの開設(平成31年2月)

エ まちづくり拠点内に「空き店舗ギャラリー」の設置(平成31年3月)

オ まち歩き物件見学ツアーの実施(平成31年3月15日から17日まで)参加者23人

15 栗原市民まつりへの参加

友好姉妹都市である宮城県栗原市において、平成30年8月25日に開催された「2018栗原市民まつり」に参加し、あきる野市の特産品のPR等を行った。

16 生産性向上特別措置法に基づく導入促進基本計画の策定

中小企業の労働生産性の飛躍的な向上を図ることを目的とし、「あきる野市導入促進基本計画」を策定し、6月に国からの同意を受けた。

市内に所在している中小企業は先端設備等導入計画を申請し、市の認定を受けることで、固定資産税の軽減措置等の支援を受けることができる。

計画を策定することで、中小企業の労働生産性の向上に寄与することができた。

(1) 先端設備等導入計画の認定を受けた事業者 4者

(2) 提出済みの先端設備等導入計画を変更した事業者 1者

17 まちゼミ支援事業

商店主が講師となって、専門知識やプロならではのコツを無料で受講者に提供する少人数制のゼミであり、お店の特徴や店主のこだわり、人柄を知ってもらうことで、受講者と信頼関係を築いてもらうことを目的とした商店街の活性化事業である「まちゼミ」を、あきる野商工会が主体となり、市や「秋川駅北口地区産業活性化戦略委員会」と連携しながら、周知等の支援を行った。

(1) 実施期間 平成30年8月1日から31日まで

(2) 参加店舗 43店舗

(3) 開催講座 56講座

(4) 参加者 395人

1 秋川渓谷観光推進事業

秋川渓谷を活用した観光推進を図るとともに、五日市地域の自然、歴史文化などの地域資源を活用した地域振興策を展開し、観光客の誘客と地域の活性化を図ることができた。

観光客の受入れに際し、観光ボランティアガイドの活発な活動により、おもてなし体制を確立することができた。

(1) 観光ボランティアガイド事業

武蔵五日市駅前において、4月から11月まで（8月を除く。）の土曜日、日曜日及び祝日の午前中に、観光ボランティアガイドによる観光案内を実施した。

ア 案内日数 合計60日

イ 案内件数 82組173人

ウ 秋川渓谷観光情報コーナーでの観光案内 6,730人

エ 観光ボランティアガイド研修会

研修会 6回開催（平成30年5月28日、8月3日、8月29日、11月13日、平成31年1月18日、2月26日）

オ 観光ボランティアガイドツアーの実施 合計2回実施

（ア）春の彩りと歴史に触れる秋川散策ツアー

開催日	平成30年4月7日
コース	東秋留駅～二宮神社～八雲神社～森田家住宅～宝清寺～小川の屋敷林～東秋留村青年会道標～石造物「道祖神」～大六天～待合坂～地藏院～秋留野公園～秋留台公園～中央公民館（約5km）
内容	春の秋川渓谷を観光ボランティアガイドの解説で巡る。
イベント参加者	9人（従事ガイド8人）

（イ）秋川渓谷紅葉めぐりツアー

開催日	平成30年11月24日
コース	武蔵五日市駅～秋川橋河川公園～小和田橋～御岳神社～広徳寺～佳月橋～岩瀬峡遊歩道～沢戸橋～戸倉しろやまテラス（約7km）
内容	秋の秋川渓谷を観光ボランティアガイドの解説で巡る。
イベント参加者	13人（従事ガイド4人）

(2) 観光客誘致促進事業（市後援事業） 合計13回開催

開催日	事業名
平成30年4月1日	第10回ハセツネ30K大会
4月7日	第10回ハセツネ30K大会春のグリーンフェスティバル
5月17日	南澤忠一さん米寿お祝いセレモニー
5月26日	秋川渓谷 eat 思うよ FES 2018
6月9日～7月16日	あじさい祭り
7月26日 ～平成31年3月26日	きく・かく・えがく～東京のふるさと・自然公園～
9月7日～10月8日	「Old meets New 東京150年」連携イベント
10月7日、8日	第26回日本山岳耐久レース
10月14日	秋川クラフトマーケット2018年秋市
11月24日	TOKYO いなかフェスティバル in あきる野玉泉寺
平成31年1月1日～31日	武蔵五日市七福神めぐり

2月17日、23日	秋川“四季の奏で”音楽会/秋川クリーンアップ活動
3月17日	あきる野の奏で in 阿伎留神社

(3) 広域観光まちづくり事業（市町村実施事業）

ア あきる野・日の出・檜原地域観光まちづくり推進協議会事業

あきる野市、日の出町及び檜原村の協働事業として、3市町村の観光の魅力を紹介して誘客に結びつけるPR用ポスターの秋号及び春号について、それぞれB1サイズ500部、B2サイズ300部の計800部を作成し、JR東日本八王子支社管内の主要駅及び市内各所に掲出・宣伝した。

イ 秋川流域観光フェアの開催

あきる野市、日の出町及び檜原村の協働による観光客誘致を目的としたイベントを実施した。

開催日	平成30年10月13日、10月14日
場所	イオンモール日の出 1階メインコート
内容	観光パンフレットの配布、森っこサンちゃんのグリーティング、特産品販売

(4) 秋川溪谷Wi-Fi整備

平成27年度に整備した公衆無線LAN「Akigawa Keikoku Free Wi-Fi」について、引き続きインターネットサービスを提供した。また、同公衆無線LANサービスを提供する民間事業者を募集し、4店舗がサービス提供をしている。

アクセス回数（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）

14か所合計 66,112アクセス

(5) 観光用デジタルサイネージ整備

平成27年度に整備した多言語対応のデジタルサイネージ（電子看板）について、季節ごとの観光PR動画の配信やイベント告知等に活用し、観光情報を発信した。

(6) 広域連携事業

ア 「高尾山・リニア」地区広域連携事業

八王子市、大月市、都留市、相模原市及びあきる野市（以下、連携5市という）の5市で連絡会を組織し、欧米豪を中心とした訪日外国人旅行者の誘客促進を図った。

平成29年度実施の対面調査、ビッグデータを活用した市場調査及びモニターツアーから得られた基礎データにより、外国人観光客の志向や動向を踏まえた効率的かつ効果的なプロモーションを展開し、ラグビーワールドカップ前年として、多摩地域をはじめとする連携5市への誘客に繋げた。

(ア) 広域観光拠点の基礎調査の実施

インフルエンサーやメディアを招へいし、欧米豪の来訪者に訴求可能な観光スポットの整理や集客コンセプトの検討を行うため、モニターツアーやファムトリップを実施した。

(イ) 広域観光拠点のロゴデザイン制作

連携5市の特色を活かしたロゴデザインを検討作成し、費用を抑えたノベルティへの転用を行った。

(ウ) 英語版パンフレット及びポスターの作成

(ア)の調査を踏まえ、欧米豪の外国人観光客に訴求可能な内容や視覚的に訴える写真、QRコードを付記し、タブレット及びスマートフォン等での情報取得を容易にする工夫を施した。また、宿泊につなげるモデルコースを掲載し、観光客の周遊につなげるパンフレット及びポスターを作成した。

媒体	作成部数
パンフレット	30,000
ポスター	1,000

(エ) プロモーション動画の制作及び動画コンテストの開催

(ア) の調査を踏まえ、各市の特色を活かした動画（1分バージョン、3分バージョン）を作成した。また、連携5市内在住、在学及び在勤者を対象とした、動画コンテストを開催した。

(オ) プロモーションイベントの実施

国内の主要ゲートウェイである成田空港にて、(イ)、(ウ)及び(エ)で制作した成果物を活用したプロモーションを実施し、来訪者に対するアンケート及びその集計、分析を行った。

開催日	平成31年2月12日、13日
場所	成田国際空港 第1旅客ターミナル到着階
参加者	八王子市、大月市、都留市、相模原市、あきる野市、受託事業者など
内容	英語版観光パンフレットの配布、外国人観光客へのアンケート調査、プロモーション動画の放映、5市特産品の試飲及び試食など
配布物	連携5市の観光パンフレット（英語版）、(ウ)で作成した観光パンフレット（英語版）、その他各市の特産品等

(カ) プロモーションの効果検証

効果測定としてKPIの調査により、効果及び課題の洗い出しと今後の事業の進め方の検討を行った。

イ 秋川溪谷観光経済統計調査事業

あきる野市、檜原村、あきる野商工会、あきる野市観光協会、檜原村観光協会及び秋川溪谷旅館組合で連絡会を組織し、あきる野市及び檜原村における観光産業がもたらす経済効果等を把握するための調査を行った。また、秋川溪谷観光経済統計調査事業連絡会を開催し、調査報告及び意見交換を行った。

(ア) 観光地点入込客数調査

国内外の旅行者が秋川溪谷を訪問した実態を調査し、観光が地域経済に与える効果を計量的に把握するため、主要観光施設調査、行祭事・イベント数調査及び宿泊施設調査を実施した。

(イ) 観光地点パラメータ調査

観光地点を訪れた来訪者の属性、一人当たりの消費額、訪問地点数及び満足度について把握するため、四半期ごとに対面式の調査を実施した。

(ウ) 域内調達率調査（経済波及効果の算出及び分析）

観光客などによる秋川溪谷内での消費が、秋川溪谷内事業所の売り上げや従業員の雇用などにどのような効果を及ぼしているか把握するため、観光による経済波及効果について、地域の事業者にアンケート調査を実施した。

(エ) 事業連絡会の実施

第1回連絡会を平成30年12月17日、第2回連絡会を平成31年3月18日に実施した。

(7) ふるさと文化創生事業

豊かな自然や歴史に恵まれたあきる野は、時代ごとに様々な分野で活躍する人々を輩出してき

た。こうした地域が誇る先人たちの功績を広め、ゆかりの地を観光資源としてPRするために、「あきる野市ゆかりの人パンフレット」及び「五日市憲法草案ゆかりの地を巡るリーフレット」を平成25年度に作成した。平成30年度も引き続き観光キャンペーンや、観光案内所等で配布を重ね、郷土愛の醸成を図ることができた。

ア あきる野市ゆかりの人事業

(ア) あきる野市ゆかりの人展示

開 催 日 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで（年末年始を除く。）

来場者数 402人（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）

(イ) PR活動 あきる野市ゆかりの人パンフレット配布

開 催 日 平成31年3月1日から15日まで

場 所 都庁第1本庁舎1階南側 東京観光情報センター内

イ あきる野の匠事業

あきる野の自然、歴史及び文化から生まれ、先代から受け継がれてきた伝統の味、技法、熟練の技術などの承継者を「あきる野の匠」として認定する。

平成30年度の認定者はいなかったが、10人のあきる野の匠が手掛ける魅力ある商品、その商品を生み出す優れた匠の技等を、市内外を問わず広く発信することにより、商品の需要拡大を図るとともに、匠の技等の承継につなげ、観光客の増加及び郷土愛の醸成を図ることができた。

また、あきる野市産業祭にて、あきる野の匠のブースを設置してプロモーションを実施した。

開 催 日	平成30年11月11日、12日
場 所	都立秋留台公園
内 容	匠の商品の展示、リーフレットの配布

2 秋川溪谷観光プロモーション事業

「秋川溪谷の魅力」を伝える観光プロモーションを展開し、秋川溪谷のブランド化を図ることができた。

秋川溪谷を訪れる旅行者が利用する交通に係る事業者との連携によって、様々な宣伝媒体で「秋川溪谷」をPRした。また、市内の関係団体との協力体制を強化し、観光プロモーションを展開する基盤づくりを進めることができた。

(1) 民間事業者等との連携による観光プロモーション事業

交通に係る事業者と連携し、観光プロモーションを展開した。

ア 秋川溪谷観光関係機関連絡会との連携事業

(ア) 観光プロモーションイベント「カワライフ2018－森のめぐみ－」の開催

開 催 日	平成30年10月27日
場 所	東名高速道路海老名SA下り
参 加 者	あきる野市観光協会、あきる野商工会、東京サマーランド、秋川溪谷瀬音の湯など（29人）
内 容	森っこサンちゃんのグリーティングや観光パンフレット等の配布、特産品販売ブース、クラフト出店などによる観光PR活動
配 布 物	観光パンフレットなど（2,000セット）

(イ) 観光プロモーションイベント「カワライフ2019－森のめばえ－」の開催

開 催 日	平成31年3月10日
場 所	中央自動車道談合坂SA上り

参 加 者	あきる野市観光協会、東京サマーランド、秋川渓谷瀬音の湯など（３５人）
内 容	森っこサンちゃんのグリーティングや観光パンフレット等の配布などによる観光ＰＲ活動
配 布 物	観光パンフレットなど（２，０００セット）

イ 一般社団法人日本自動車連盟（ＪＡＦ）との連携事業

ＪＡＦデーの開催

開 催 日	平成３０年５月１３日、８月２７日、１１月１７日
場 所	東京サマーランド
内 容	観光パンフレット配布、森っこサンちゃんグリーディング

ウ 東日本旅客鉄道株式会社（ＪＲ）との連携事業

（ア）観光キャラバンの実施

ＪＲ中央線の駅頭において、森っこサンちゃんのグリーティングや観光パンフレット等の配布を市内事業者と協働で実施した。

開 催 日	平成３０年７月１２日
場 所	ＪＲ町田駅
参 加 者	あきる野市観光協会、あきる野商工会、東京サマーランド、秋川渓谷瀬音の湯など（３１人）
内 容	森っこサンちゃんのグリーティングや観光パンフレット等の配布などによる観光ＰＲ活動
配 布 物	観光パンフレットなど（２，０００セット）

（イ）はいじま駅まつり２０１８への出店

ＪＲ拝島駅において、あきる野市、昭島市、福生市及び瑞穂町の協働による観光客誘致ＰＲを実施した。

開 催 日	平成３０年１１月２４日
場 所	ＪＲ拝島駅
内 容	観光パンフレット配布、森っこサンちゃんグリーディング、特産品販売

エ トヨタ西東京カローラ株式会社との連携

秋川渓谷観光プロモーションの一環として、イベント開催支援及び観光ＰＲを目的とした協力をし、官民協働による事業を実施した。

「わくわくドライブ in あきる野１８」への協力

開 催 日	平成３０年１０月２８日
場 所	養沢苔庵、コテージ森林村など
内 容	市内のドライブ、ワークショップなど
イベント 参 加 者	西東京カローラユーザー６７人

オ 西多摩地域広域行政圏協議会主催事業

西多摩地域８市町村の協働による観光客誘致ＰＲを実施した。

発見！西多摩手箱「西多摩フェア」の開催

開 催 日	平成３０年７月２１日、７月２２日
場 所	イオンモール日の出 １階メインコート
内 容	観光パンフレット配布、森っこサンちゃんグリーディング、特産品販売

（２）イベント出展等による観光誘客事業

ア 「東京観光情報センター」展示

開 催 日	平成３１年３月１日～１５日
場 所	都庁第一本庁舎１階 東京観光情報センター
内 容	観光パンフレットの配布、ポスター展示、秋川渓谷観光ＰＲ映像放映

イ 港区ちいき百貨展展示

開催日	平成30年7月～8月
場所	港区エコプラザ、港区商工会館
内容	観光パンフレットの配布、特産品の展示

ウ 第42回全国育樹祭記念行事 森林・林業・環境機械展示実演会

開催日	平成30年11月18日、11月19日
場所	旧都立秋川高等学校跡地
内容	観光パンフレットの配布、軍道紙の展示

(3) 観光関係雑誌及び新聞等による紹介・宣伝

各種行事及び市内観光施設等について、雑誌等を利用し、紹介・宣伝した。

媒体	回数
地域情報誌	5
フリーペーパー	10
書籍	7
新聞	15
WEB	16
テレビ	2
合計	55

(4) SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用

ア あきる野市観光情報 Facebook ページ統計データ

(ア) 期間 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで（365日）

(イ) 投稿回数 75回（1週当たり平均約1.4回投稿）※ 1年間を52週とする。

(ウ) 各投稿の平均閲覧回数 約3,113回（複数回閲覧者含む。）

(エ) 各投稿の合計閲覧回数 314,454回（複数回閲覧者含む。）

(オ) 各投稿の平均閲覧人数 約1,734人（ファン以外を含む。）

(カ) 各投稿の合計閲覧人数 175,150人（ファン以外を含む。）

※ 各投稿の平均は、合計の閲覧回数・閲覧人数から算出

(キ) ファン数 2,587人（平成31年3月31日現在）

※ 平成30年3月31日時点は、2,444人

イ 秋川溪谷LINE@アカウント

(ア) 期間 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで（365日間）

(イ) ホーム投稿回数 88回（1週当たり平均1.7回投稿）

(ウ) メッセージ配信回数 45回（1週当たり平均約0.9回発信）

(エ) 各発信の平均閲覧回数 約54回（複数回閲覧者含む。）

(オ) 各発信の合計閲覧回数 4,789回（複数回閲覧者含む。）

※ 各発信の平均及び合計の閲覧回数・閲覧人数は、投稿・配信日の数字から算出

(カ) 友達数 2,327人（平成30年3月31日現在）※ うち有効友達数1,328人

(5) 観光パンフレット等の作成

「東京のふるさと・あきる野」の魅力を市内外に発信するため、観光パンフレット等を作成した。

ア 秋川溪谷リーフレット（日本語）	春・夏版30,000部、秋・冬版30,000部
イ 秋川溪谷リーフレット（英語）	20,000部
ウ 秋川溪谷総合マップ	50,000部

エ 五日市憲法草案リーフレット 10,000部

(6) 秋川溪谷観光デジタルフォトコンテスト

秋川溪谷を中心とした写真を募集し、広く発信する市民参加型のイベントとして、フォトコンテストを2回開催した。また、応募作品の一部を秋川溪谷の魅力発信のため「秋川溪谷四季リーフレット」の写真データとして使用した。

ア 第8回(春・夏の部)

(ア) 応募期間 平成30年6月15日から8月31日まで

(イ) 応募作品 42作品

(ウ) 受賞 金賞1点、銀賞1点、特別賞2点

イ 第9回(秋・冬の部)

(ア) 応募期間 平成30年10月15日から平成31年2月28日まで

(イ) 応募作品 59作品

(ウ) 受賞 金賞1点、銀賞1点、特別賞2点

(7) 秋川溪谷ロゴマークの活用

「東京のふるさと・あきる野」の実現に向けた観光まちづくりの取組として、秋川溪谷を広くPRするため、秋川溪谷ロゴマークを定め、活用を図った。

ア ロゴマークの使用承認

団体・事業者が商品等に掲載した。

(ア) 使用申請 2件

(イ) 使用承認 2件

イ 啓発用品の掲出・配布

ロゴマークを刷り込んだ啓発用品を掲出・配布した。

(ア) タペストリー JR武蔵五日市駅から小中野交差点までの檜原街道沿いに掲出

(イ) のぼり旗・ミニのぼり旗 公共施設、観光施設等に掲出

(ウ) ステッカー イベント等で配布、市庁用自動車に貼付

(エ) マグネットシート 市庁用自動車に貼付

(オ) 秋川溪谷ロゴ入りポロシャツ 103枚販売

(8) 「森っこサンちゃん」LINEスタンプ製作

LINEアカウント「秋川溪谷」を活用し、秋川溪谷観光プロモーションを推進するためLINEのコンテンツであるスタンプ内で、森っこサンちゃんのオリジナルLINEスタンプを販売した。

ア LINEスタンプ販売数

平成30年度 182ダウンロード(5,395円)

イ LINEスタンプ使用数(受信総数)

平成30年度 81,561件

3 秋川溪谷観光施設維持管理事業

秋川溪谷に係る観光施設等を維持管理し、観光資源としての継続的な保存や景観整備を図ることができた。また、観光ルートの整備による眺望確保や、訪日外国人旅行者に対応した英語表記による歩行者用誘導標式を設置するなど、より魅力的なルートを整備することができた。

(1) 秋川溪谷観光情報コーナーの運営管理

秋川溪谷観光の玄関口であるＪＲ武蔵五日市駅の改札外に観光資源の魅力発信拠点として設置した「秋川溪谷観光情報コーナー」において、観光パンフレット等の配架や秋川溪谷Ｗｉ－Ｆｉの提供、デジタルサイネージによる多言語情報の発信を行うことで、外国人観光客の受入れ環境整備を図るとともに、観光ボランティアガイドの活動拠点として活用した。

(2) 歩行者用誘導標識の整備

来訪者の周遊性向上及び地域の魅力発信を図るため、「秋川溪谷観光用誘導標識整備計画」に基づき、歩行者用誘導標識２基及び広域観光案内看板１基を整備した。英語による案内を併記することで、訪日外国人旅行者への受入れ環境整備を行った。

(3) 観光施設修景整備事業

観光ルートの修景整備事業として、長岳尾根周辺の草刈り及び枝打ちを行い、秋川溪谷の魅力向上を図った。

4 観光トイレ維持管理事業

秋川溪谷を訪れた観光客に快適に利用してもらうとともに、観光資源としての継続的な保存を目的として、ハイキングコース上などにある観光トイレの整備及び維持管理を行った。

(1) トイレ整備事業

ア 市内３７か所の観光用トイレの維持管理及び清掃を各種団体等に委託して行った。

イ 行楽シーズンである夏季期間のみ河川沿いに仮設トイレを２基設置した。

ウ 老朽化した施設について改修工事及び補修を行い、観光客の利便性の向上を図った。

(2) トイレ洋式化工事

ユニバーサルデザイン及びインバウンドに向けて、東京観光財団の補助金を活用し、８か所のトイレの洋式化工事を行った。

5 秋川流域ジオパーク推進事業

秋川流域は、緑と清流に恵まれ、歴史と文化が育まれた大地の中に、古生代から新生代にかけての８つの地層がまとまった形で分布しており、それぞれの地層からは、ステゴドンゾウを始め、海や陸に生きた生物の化石が数多く発見されていることから、化石の宝庫といえる全国でも有数な地域である。

このような貴重な大地と自然、文化を活用して、観光や商業など、地域の活性化を目指すため、秋川流域３市町村が連携して設置した「秋川流域ジオパーク推進会議」により、取組を進めてきた。

平成３０年度においては、これまで進めてきたジオパーク推進活動の理念を継承し、蓄積された情報や経験を生かしつつ、持続可能なツーリズムの推進を念頭に置いて各種事業を実施した。

(1) 秋川流域ジオパーク推進会議の開催等 合計４回開催

秋川流域ジオパーク推進会議及び関係者による会議等を開催し、後継事業（持続可能なツーリズム）の方向性等を検討した。

開 催 日	内 容
平成３０年 ５月 ８日	事務局会議 今後の方針等について
５月２１日	秋川流域ジオパーク推進会議 １ 平成２９年度活動報告及び決算報告について ２ ＪＧＮ活動について ３ 組織改編に向けた取組みについて

	4 平成30年度活動計画（案）及び予算（案）について、今後の方針検討体制について
平成30年 9月10日	秋川流域ツーリズム検討WG 1 秋川流域ジオパーク推進事業の方向性について 2 エコツーリズムについて 3 組織体制について等
平成31年 2月22日	秋川流域ツーリズム検討WG 1 後継事業の名称 2 事業全体イメージ 3 具体的な取組み 4 スケジュール・組織体制について等

(2) あきりゅうジオの会による活動 合計12回実施

毎月講師を招いた学習会等と会員向けの全体会を併せて実施し、参加者の知識向上を図った。

開催日	内容
平成30年4月10日	学習会 講師：秋川流域ジオパーク推進会議 委員 竹内 英二 氏 テーマ：最新地質学への誘い 全体会 あきりゅうジオの会2018年度活動方針、ジオガイドツアーチェックリストについて、第2回代表者会議報告等
5月 8日	学習会 講師：秋川流域ジオパーク推進会議 代表 長田 敏明 氏 テーマ：相模湾はどうしてそこにあるのか 全体会 あきりゅうジオの会会員名簿の配布、D班ガイドツアーへの応援体制、今年度前半のガイドツアー準備と対策について等
6月12日	学習会 講師：産総研 地質情報研究部門研究主幹 高橋 雅紀 氏 テーマ：日本海の拡大から山国へー列島誕生の謎に迫る 全体会 5月21日推進会議の報告、今後の全体会について、今年度前半のガイドツアー報告、役員改選について等
7月10日	学習会 講師：成蹊大学理工学部 教授 宮下 敦 氏 テーマ：日本列島の形成と関東山地の付加体 全体会 今後の役員体制、フィールドワークの開催、今年度の視察研修、9月・10月の講師について等
8月14日	学習会 講師：森林レンジャーあきる野 パブロ アパリシオ 氏 テーマ：あきる野市の河川敷・里山・奥山の自然を語る指標種たち 全体会 2018年後期チラシ、視察研修の実施時期、2019年4月以降のジオの会のあり方について等
9月11日	学習会 講師：GeoWonder 企画むさしの化石塾 代表 福嶋 徹 氏 テーマ：関東西南部・多摩川流域の化石から紐解く上総層群の第四紀層の姿 全体会 7月全体会学習会に於ける「黒瀬川帯」、フィールドワークの案内、2019年4月以降のジオの会のあり方について等
10月 9日	学習会 講師：早稲田大学教育・総合科学学術院 教授 高木 秀雄 氏 テーマ：関東山地北縁部の地質の謎と中央構造線 全体会 パンフレット「秋流ジオの不思議探検」の改訂増刷、視察研修、フィールド学習会、2019年4月以降のジオの会のあり方について等

11月13日	研究発表会 演 者：アケボノゾウ・化石研究会 テーマ：アケボノゾウ臼歯化石と五日市町層群の古生物 全体会 10月29日城ヶ島フィールドワークの報告、12月2日五日市湖成層フィールドワーク、2019年4月以降のあきりゅうジオの会のあり方について等
12月11日	研究発表会 演 者：あきりゅうジオの会C班 あきりゅうジオの会F班 テーマ：大荷田礫層の分布調査、羽生溪谷地形図の作成 秋留台地と人の営み 全体会 パンフレット「あきりゅうジオの不思議探検」の改訂版、つくば視察研修について、12月2日五日市湖成層フィールドワークの報告、新会の会則について等
平成31年 1月 8日	ジオツアー報告会 講 師：あきりゅうジオの会E班 あきりゅうジオの会A班 テーマ：五日市町層群いろいろ 神谷鉦山の研究その3 全体会 つくば視察研修実施要領、ツアー・公開講座参加者の取扱い、新会の会則と今後のスケジュールについて等
2月19日	全体会 つくば視察研修、3月の総会と総会後のお別れ会、長田敏明先生の近況について等
3月12日	あきりゅうジオの会第3回総会

(3) 秋川流域をエリア分けし、担当班ごとに一般公募のガイドツアーを実施した。合計9回実施

開 催 日	内 容
平成30年 5月12日	E班ガイドツアー「五日市湖成層、五日市町層群の観察」
5月16日	A班ガイドツアー「～昔の生活は雲上にあった～檜原村神戸岩と小林家をめぐり昔の人々の生活に思いを馳せてみよう」
5月19日	C班ガイドツアー「東京の大地のつけ根を歩いてみよう」
5月20日	D班ガイドツアー「戸倉城山の歴史と文化」
10月14日	F班ガイドツアー「川は偉大な彫刻家Ⅱ～「あきりゅう遺産」秋満喫のぶら歩き～」
10月21日	A班ガイドツアー「東京の秘境・養沢の歴史文化を感じながら大岳鍾乳洞を探検しよう!!」
11月11日	D班ガイドツアー「紅葉の払沢の滝を訪ねる」
11月24日	C班ガイドツアー「砂岩とチャートの巨岩が造る風景と里山の信仰を訪ねて」
12月 1日	E班ガイドツアー「三内溪谷で大地の歴史と生きものを探そう!」

(4) P R 事業・視察対応等 合計6回実施

流域住民への周知を図るため、地域の各種イベント等に参加し、P R 活動を実施した。

また、他団体からの要請に応じて、視察対応や講演会を実施した。

開 催 日	内 容
平成30年 5月10日	視察対応① 内容：江戸川区子ども未来館（実踏） 場所：戸倉しろやまテラス、小宮ふるさと自然体験学校、払沢の滝、橘橋下、中山の滝
5月13日	P R 事業① 内容：J A Fデー（石当てクイズ等） 場所：東京サマーランド

7月22日	視察対応② 内容：江戸川区子ども未来館 場所：落合橋下流河川敷、戸倉しろやまテラス等
11月3日 4日	PR事業② 内容：パネル展示、泥団子磨き、火打ち石体験等 場所：日の出町民グラウンド
11月22日	PR事業③ 内容：出前授業（化石のでき方、日の出町周辺の地質と地形等） 場所：日の出町立大久野小学校（6年生2クラス）

（５）ツーリズム部会による活動 合計４回実施

持続可能なツーリズムの方向性の検討と流域内の地域資源を活用した一般住民向け講座を実施した。

開催日	内 容
平成30年 4月13日	第1回部会 一般向け講座（地理カフェ）、視察について
4月27日	第1回地理カフェ（一般向け講座） ㈱サプラニア代表湯原勇太氏をゲストにしたトークセッションとまち歩き
6月22日	第2回部会 秋川流域ジオパーク推進事業の方向性、新MAP、一般向け講座（地理カフェ②）、地域資源調査や団体と連携した活動、地域資源を活かしたツーリズム先進事例視察研修について
7月14日	第2回地理カフェ（一般向け講座） 石積み（石花）＝ロックバランスングをしている濱中氏をゲストに、その魅力に関するトークと実際に参加者でロックバランスングに挑戦した。
9月14日 ～平成31年3月31日	帝京大学有馬ゼミ生による関係者への聞き取り調査や観光ボランティアガイドとの街歩き調査、文献資料調査等

（６）日本ジオパークネットワークからの退会

平成26年から準会員として日本ジオパークネットワーク（JGN）に加盟し、JGNの事業に協力するとともに、活動に関連する情報収集を図るため、全国大会等に参加してきたが、平成30年4月末をもってJGNから退会した。

（７）拠点施設「秋川流域ジオ情報室」の運営

「秋川渓谷戸倉体験研修センター」3階にある「秋川流域ジオ情報室」について、昨年度に引き続き非常勤職員を3人雇用し、秋川流域に存在する地域資源を季節ごとに紹介する展示物等の作成と解説を実施するなど来訪者の対応を行った。

年間来室者 5, 570人

6 ふるさと工房運営事業

紙漉き体験や講習会を実施することにより、市の伝統工芸である「軍道紙」の保存伝承及びPRをすることができた。

（１）小学校体験学習件数 39校（市内5校、市外34校） 2, 390人

（２）高等学校体験学習件数 1校（都立） 34人

（３）軍道紙保存会への保存伝承事業委託料 9, 067, 000円

（４）軍道紙紙漉き講習会の実施

紙漉き体験で半紙やハガキを参加者に作成してもらう講習会を行った。手漉き和紙の伝統文化の理解及び郷土愛の醸成につながり、後継者育成の足掛かりとなった。

ア 開催日 平成31年3月6日

イ 受講者数 10人（市民10人）

（５）イベントにおけるPR活動

イベント名	開催日
あきる野市産業祭	平成30年11月10日、11日
全国育樹祭（森林・林業・環境機械展示実演会）	11月18日、19日

7 指定管理者による管理

指定管理者の能力を活用し、市民等に対する観光行政サービスの効果及び効率を高めることができた。

（１）観光施設

施設名	指定期間	指定管理者	利用者数（人）
秋川橋河川公園	平成29年4月1日～ 令和2年3月31日	一般社団法人 あきる野市観光協会	61,190
第1水辺公園 リバーサイドパークの谷			1,820
第4水辺公園 秋川ふれあいランド			4,522

（２）十里木・長岳観光施設

施設名	指定期間	指定管理者	温泉利用者（人）
秋川溪谷瀬音の湯	平成27年4月1日～ 令和2年3月31日	新四季創造株式会社	237,782

（３）秋川溪谷戸倉体験研修センター

指定管理委託料	指 定 期 間	指定管理者	利用者数（人）	
2 1 , 9 9 0 , 0 0 0 円	平成 3 0 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 3 1 日	新四季創造株式会社	体 験	1 , 0 5 3
			宿 泊	1 , 9 6 9
			飲 食	1 2 , 4 6 7
			研修室	4 , 4 0 4
			見学等	4 , 4 1 6
			2 4 , 3 0 9	